

Ⅲ 自由意見

1 身体障がい者

(1) 相談について

- 私は 59 歳の、両先天性股関節脱臼による下肢障がい者の女性です。私が身体障がい者手帳を再交付していただいたのは、昭和 61 年 11 月です。それから 25 年近く経っているのに障がいの等級は 6 級で、それから関節が痛み、最近では階段を上る時、手すりに掴まらないと上れず、年齢と共に障がいは重くなってきて、整形外科の医師からこの 6 級はおかしいと指摘されているのですから。どこへ申し出、相談してよいかわかりません。もっと定期的に見直し等をして頂けたらと思うのですが、どこへ相談に行ったらよいのでしょうか？お知らせください。お願いします。
- 月 1 回、できないならば半年とか 1 年とか自宅に訪問して障がい者の話を聞いて欲しいです。仕事のこととかいろんな悩みがありますが、自分で行くとか電話をするとかは気持ちに消極的なところがあります。生活支援センターの案内は見ましたが、できれば自宅に訪問してほしいです。
- 幸いにして、耳が不自由な以外は身体は動けるので、今は毎日仕事へ行っています。しかし、60 歳を過ぎて(6 月に)やはり、いろいろなトラブル(動脈硬化による)が出てきており、先のことに不安を感じています。身寄りも親戚も居らず、人との付き合いも下手で大病になった時が怖いです。また健康面、特に一人なので食事の栄養面がわからず、毎日偏ったものを食べています。健康面、それと住宅(賃貸)関係でもっと相談できるところがほしいと思います。
- どのようなサービスがあるかわからないので、情報提供(郵便で頂けるとか)をしてほしいと思います。障がい者に対する差別がまだまだあるように思います。一般の方々に障がい者に対する情報が伝わるようにして頂けたらと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。
- 自分の悩み事等を真剣に相談できる人、場所があればと思います。
- 相談日も 2 か月に一度でも良いから休日にも行なってほしいです。地域の人には相談はとてもしにくいです。だから将来は不安です。

(2) 情報提供について

- もっと、日常生活においていろいろな情報を流してほしいです。障がい者は高齢者だけではないということを知ってほしいです。
- 障がい者へのいろいろな支援制度があることを年 2 回程度、知らせてほしいです。(市バス(200 円)に乗るとき、手帳を見せると無料になることとか、名古屋の地下鉄が半額で乗れること等を全然知らなくて、手帳を持つようになって 15 年程になりますが、つい 2 年ほど前に障がい者の知人より教えてもらい知りました。)
- まだ私自身が把握していないため、これからいろいろな情報を収集して勉強したいです。

- 福祉サービスの情報が少なく、利用の仕方がわからないので、わかりやすくしていただきたいです。将来どうなるのか、わからないので不安です。
- 障がい者のガイドブックを市役所までとりに行かないと頂けないので、できれば送って頂いたほうが良いと思います。市役所まで行ける人はいいのですが、行けない人には何が変わったとかがわかりません。
- 障がい者に対するサービス、生活支援等、自ら探すのではなく福祉課が中心となり障がい者にダイレクトメールなどを発信してほしいです。（知らないことが多すぎる、手続きすることが知らなかった等、後でわかることが多すぎます。）

(3) 就労について

- 障がいを持っていながら、いままではかなり自立した生活を営んでおりましたので、福祉への関心を持ちながら正直障がい者の就労支援のためにいろいろなところがあることは知りませんでした。また働く意思はあっても、現実はなかなか困難であるということです。
- 現在自営業、父親と二人暮らしです。私は週3回の人工透析、父親は要介護1を受けています。週3回店を閉めなければならず、不況も重なって収入減少し、私が糖尿もあるのでどうかなった場合、父親のこと、仕事のこと考えると将来がとても不安です。
- 聴覚障がいがあっても受け入れてもらえる企業の紹介等、教えてほしいです。
- 自立のために必要な職の安定を支援していただきたいと思います。通勤の苦痛を少しでも少なくするよう職場に近い住居の確保ができる制度と、公共交通機関のバリアフリー化、手当での充実などでただ単に金銭的な援助などより実のある福祉サービスになるのではないかと考えます。
- 以前にハローワークでパンフレットを貰い、受付の方に求人企業合同は障がい者の面接もあるのでしょうかと聞きましたら、ありますと教えてくれましたので、1か月前くらいに申し込みました。しかし連絡が何もないので就職面接会の5日くらい前にハローワークに行き、会場へ直接行けばよろしいのですかと尋ねたら、何も通知が届いてないですかと言われ、届いてないと答えましたら、もうすでに受付は締め切ったからと言われました。1か月前くらいに申し込みをしたのですがと言ったら、担当者に言ってもらわないとわからないといわれ、次の日に聞きに行きましたら、すみませんでしたと言われ、すごくショックでした。スーツまで買い、準備をしていたため、力が抜けてため息しかできませんでした。
- 仕事に関して、臨時でいいから市の職員として働きたいです。それにはいろんな条件があると思いますが、宜しくお願いします。
- 身体障がい者認定を受けたばかりで、現在自宅にて自主リハビリ中です。子どもの養育のため、最低でも後数年は働かなくてはと思っています。身体的に条件に合う仕事でできれば普通の収入を得られる仕事はないものかと思案中です。市への意見はまだ利用したことはありませんので、別の機会がありましたら述べさせていただきます。

- 就職先が名古屋近郊しかなく、春日井市内は障がい雇用が少ないです。足（下肢）にハンディがあるため、できれば春日井市内を希望しています。
- ①一度退職すると障がい者というだけで何ら通常の業務に支障がないにもかかわらず、再就職が困難で今現在、年齢もあるとは思いますが、正社員の求人がないため無職である。②正社員以外は賃金が安いので生活できないので…また失業保険では更に生計が成り立たないので、早急に就職したい。
スポーツ等激しい運動ができないだけで、ゴルフ等の運動であれば問題なく、通常の業務は大丈夫です。
- 今は傷病手当金一日 7000 円会社の健康保険から頂いていますけどこの先不安です。平成 20 年 6 月に定年になり年金を頂いてもとても生活ができなく再就職先があれば良いのですが、不安です。
- 障がい者にもいろいろあって、私のように左半身マヒと人工透析をやっている者にとって、透析後は寝込むような状態で、何もやる気がおきません。何かは言えませんが、障がい者が気力を起こされるような制度になり、事柄はないもののでしょうか。ちょっと前まで一人前に働いていた者にとって、作業所などで得る所得がまだ頭脳が障がい者ということを理解していないのか、あほらしく思えます。例えば一個一個単純作業より、プラモデルのような込み入った作業をして、月のでき高は一緒でもやったという達成感を持てれば良いなと思います。
- 今、大学生なのですが、将来就職する時なのですが、普通の企業に就職した場合 障がい枠として給料が 10 万円前後しかもらえないと聞きました。10 万から給料が上がらないとすると、自立して生活することができるか、少し不安です。
- 重度障がい者が生活できる福祉のサービスが必要だと思いますが、その他の人、軽度の人達も一般の会社で正社員として働けるよう（春日井市内で）になればと思います。自立イコール働く場の提供をしてください。各企業に働きかけてください。
- 親の立場でのお願いです。現在パートで一般就労していますが、仕事量が日によって異なり、少ない時は午前中のみで帰宅となり就労が安定していないのが現状です。障害者自立支援法が制定され、就労支援に重点もおかれています。なかなか一般企業では厳しいものがあります。できれば公共の施設（例えば市役所、病院 etc）で働く場があると良いと思います。身体障がいの方の募集はありますが、知的障がいの人にはその機会がありません。清掃など他市では取り組みが始まっていますので是非春日井市でも検討をお願いいたします。
- 障がい者の雇用促進に力を入れてほしいです。
- 3 年ほど前に、病院に勤務（パート）していましたが、10 日ほど前に 21 日から辞めてくださいと言われました。その時同様のスタッフが 40～50 人あったと総務の人が言っていました。パートでも 3 か月前には通達があるのが普通だと、周りのものに聞かされましたが、半数は泣く泣く病院のいいなりにやめました。こういう不公平にならないよう、大きな事業所ほど指導しておいていただきたいです。

(4) 福祉サービスについて

- 補装具の修理などの金額を正しく市役所が調べ、金額を小さくしてほしいです。補装具の金額が上がると年金暮らしなので生活が苦しいです。生活保護を受けていないのに、近所の人の方が生活していていいねと言われます。正しく近所の人に伝えてほしいです。本当に家族が入院したりした時に手伝ってほしかったのですが、してもらえず、何のために介護保険料を払っているのかと思いました。済んだことを言ってもしょうがありませんが、そういうこともあったことを知ってほしいです。
- 私は障がい6級で、障がいとしては軽い方ですが一生障がいを持って生きていくことには変わりないので、もう少しサービスの幅を広げて頂きたいと思います。
- 耳の中途障がいのため、家族への依存度が高いです。土日閉庁のため相談の機会がありません。家族がわざわざ休暇をとって手続き等、ある時に行かなくてはなりません。土曜日に利用できるのがサービスではないですか。一般市民と同日の休日の取り方では真のサービスとは言えないと思います。母の介護(認知症)をコミュニケーションが取れないまましていました。かなり両方ともども精神的に切羽詰った状態になり、デイサービスも短期入所も難しい状態が続き、施設の方のみ相談相手でも八方塞の状態がありました。困っても解消できず(老人ホームへ入所できず)民間のグループホームの方の努力で老人ホーム入所できましたが(ホーム入所により本人も落ち着く)、こういう場合の市の対応策はあったのでしょうか？
- 保健福祉が必要になった時、まず相談すべきところがわからず、困ったことがあります。情報を知っている人は何から知りえるのか、全体に誰にでもどんなサービスが受けられるかを1本化してそこからそのサービスはあちらとか振り分けていただきたいです。中心はどこかが誰でも知っている世の中にしてほしいです。知っている人が得をしていることもあります。
- 特に重要かつ緊急を要することではありませんが、社会福祉に関する事柄(法律、サービス内容等々)は難解な部分が多いです。もっとわかりやすくないのかと、いつも思います。きっと細かい条件がつきすぎているのではないのでしょうか？
- 春日井市は割と福祉などに力を入れているように思います。いろんなサービスを利用させていただいており、ありがとうございます。
- 私は聴覚障がいがあり情報は視覚のみで得ています。障がい福祉サービスガイドの中の日常生活用具の給付を受けたいと思いますが、種目を見る限り、旧型のものが多く補聴器にしても新型の便利なものを使うと補助がなく、大変高額になり購入することができません。他に給付種目にある(8)の情報受信装置等、申し込む人はいらっしゃるのでしょうか？今はデジタルテレビで字幕も出るので必要ないと思います。新商品が次々発売され、便利なものが出てきますのでそれに対応して生活用具の補助も見直していただければありがたいと思っています。
- 福祉のいろいろな申請手続きが支所で扱われません。本来なら障がい者である申請者のできるだけ近いところでできることが当たり前だと思います。なんのための支所ですか。福祉に関するものは支所でもすべてできるようにしてください。申請受付が無理なら、せめて申請書類ぐらいは用意をお願いします。

- 現在の障がい者が6級で、日常的なことは何とか自分でできるのであまり福祉サービスを利用しないこと、転勤で転居してきましたので春日井市のことも充分にはわからないこともあります。
- 現在の福祉政策では満足するサービスはありません。制度そのものを変えるべきです。
- 私は26歳の女性で、食べられない、喋れない、動けないの身体です。今まで、歩くのにハイハイをしていましたが、最近では腰が痛いし足も痛くてハイハイもできません。夜寝る時も寝返りもできません。車椅子を援助いただいて3年半ですので、家中用に車椅子を10万円で買いました。年寄りと違って若いと身体が悪くなるのが早いです。8年も経たないと援助が受けられないのはちょっと変だなと思います。歳の差や病気の違いで援助の仕方も変わるんじゃないでしょうか。これは母に書いてもらいました。
- 障がい者のみならず、移動支援の充実をお願いしたいと思います。
- 春日井市は他の市と比べて福祉サービスは充実していると思います。今後、サービス低下にならないことを願っています。
- ヘルパーの代金等、何でもお金がかかるので利用したくてもできないものが多いです。お弁当の宅配を頼みたいです。留守の時にも置いておいてくれると助かります。(デイサービス等)
- 在宅に関して、年寄りは一般に「家に他人を入れたくない」人があり、実際母も嫌悪感、疲労感が増します。TVや新聞での情報ですが、民生委員の方、ホームヘルパーの方、ある意味怖い存在に思っています。とはいえ、国は在宅に力を入れる、療養病床減少で、患者や病院をたらい回し、施設はお金がないと入れません。特養は何年も待ちがあり、こねがあれば優先的に入れてもらえるのが現実です。在宅で看ようと思うと家族の負担が増し、近い将来ホームヘルパーに頼らざるを得ない状況にうちも来ますが信頼を得るためにかなりの時間がかかりそうです。
- 福祉サービスの一つとして、ガソリン代を頂いており、病院通いの私にとってはありがたいと思っています。
- 年配のデイサービスばかりでなく、60代でも利用しやすい50~60代向けのデイサービスがあれば、抵抗なく利用できると思います。障がい者、病気を持った人でもできる就業(手作業でも)があると60代でも居場所ができるのではないのでしょうか。
- 介護タクシーの利用を通院だけでなく、もっと枠を広げてほしいです。(生活に必要な買い物)例えば銀行とかスーパーマーケット、交通機関への駅まで等)
- 両親が死亡、または介護不能になり、兄弟姉妹と同居になった場合、家事、介助のためのホームヘルパー、時間数について不満があります。
- 家族が病気になったり高齢になったときの支援が不安です。特に現在はまだなんとか家族で支えています。例えば本人が外出したり遊びに出掛けたりする時の移動の支援が充分ではないと感じます。年齢的にも家族と出掛けるより同世代の人達と出掛けたいという気持ちがあるのですが、一人では不安もあり楽しさもなく、そういったときの移動の支援が名古屋市は充実しています。(例えば、野球観戦など、一緒に観戦中も支援の対象にしてほしいです。)

- 家に一人で居るときに、身体に異常が起きたらどうしようと思います。電話ができない、そんな時ボタン一つ押せばよいという話を聞いたように思います。
- JR の電車ですが、同伴者がいるときは半額料金で使えて、一人の時は 100 km 以上でないと使えないのはおかしいと思います。バスは一人の時使えてややこしいです。
- 私はタクシーチケットを 1 年分頂いて居ります。でもこの 2 年で 2 回（タクシーチケットをいただいて 2 年目）使わせてもらいました。でも平成 19 年は 1 度も使っていません。タクシーで 1 回乗ると 3000 円近くかかります。なかなか使えません。もっとほかの方法がないのでしょうか？ガソリンは車に乗らないので、目が悪いためです。勝手な意見ですが、よろしく願います。
- 障がい者 1 種 1 級ですが、今まで外出支援の認可を出してもらえませんでした、今後は認可をしてもらいたいです。
- 福祉サービスの「自動車燃料利用券」ですが、現在セルフの店が多くなっています。できればセルフスタンドでも利用できるよう考えていただけないでしょうか？
- 有料道路の通行割引が 1 台の車両に固定されてしまい、それ以外の車両で移動する時に実費になります。本人の同乗を確認できれば割引を実行してもらいたい。現状では本人の同乗がなくても割引ができてしまう、不合理なシステムになっています。

(5) 障がい者施策について

- 将来は地域でのグループホーム、ケアホームでの生活を望んでいます。しかし年金と僅かなパート収入では生活が厳しく余裕はありません。最近では家賃補助をしている市町村があります。こちらも是非お願いいたします。なお市内に 20 人規模のケアホーム、グループホームができると聞きました。20 人では小さな施設になってしまいます。本人の生活の質、プライバシーの面を考えても 4、5 人規模が理想です。特に施設から地域へという流れの中で。4 人規模を 5 棟となるよう、今後は設立される法人等に働きかけていただきたいと思います。宜しく願います。
- 指で体内の酸素飽和度を測定できるパルスオキシメーターの助成を春日井市でも施行していただきたいと思います。
- 昔は「在宅障がい者手当て」「心身障がい者扶助料支給」の申請案内に返信用封筒が同封されていましたが、最近では同封されていません。これは少しでも申請を減らそうという意図があるのではないですか？自分で封筒と切手を買って出すのは結構手間がかかるので、つい出すのを忘れてしまいます。ここ数年、ガソリン補助を受けていません。障がい者にとって車での通院は必須なので、支給条件をもっと緩和してほしいです。最近ではガソリン代も高騰しているので、ぜひお願いしたいです。
- 今、市営住宅の 2 階に住んでいますが、足が不自由でだんだん階段の上り下りが難しくなってきた、部屋を 1 階に替えてもらえるような制度になれば助かるのにと思っています。
- 利用について・・・というより手帳は 1 級ですが、言語が重いだけでほとんど受けるサービスがありません。一人でどこかへ行くことも買い物も・・・何もできないので手足が回復したというだけで・・・言葉がしゃべれず、書くことも文字盤等もできません。常に人の手がいられます。なのに軽い。全く意味が解らない手帳です。

- 名古屋市や東京都内に比べて、ホームヘルパーの24時間支援ができず、家族に依存せざるを得ない状態であり、大変憤りを感じています。もし家族が予期せぬ事故や病気、高齢化した場合、生活が成り立たなくなり、介助が不可能（特に夜間）となってしまう。家族が同居ができないということは独居を余儀なくされ24時間支援の必要性が求められることになると思っています。特に全身性の障がいを持つ者としては常時介助が入所すること以外で行なわれるのが望ましいです。それには24時間支援などの居宅支援の充実を心から切に願います。その他の要望としては障がい者の生活の場を入所施設だけではなく、グループホームや地域に根ざした社交的な居住施設、例えば障がい者の人と健常者の人が共に安心できるマンション、アパートなど。互いが協力し合って、常に誤解などを生まないようにできる地域にしてほしいと思います。また悪意を持って接する人達への厳罰化を行い、平等に生きていける社会を作ることが絶対的に必要だということを行動に示せるように春日井市の職員方のご協力なくしてはならないと思っていますので、今後とも是非宜しくお願いいたします。
- 私は喉頭がんと食道がんのため、全摘出をしたため現在は2級の障がい者です。愛知県がんセンターの発声訓練の会（愛友会）に入会し、三年が経過しました。食道発声の努力の結果何とか会話ができるまでになりました。指導員の先生方も全て喉摘者です。春日井市におかれましても、今後そのような組織ができることを望みます。市の福祉課の幹部及び職員の方にも愛友会への見学をお勧めするものです。
- 公共病院の駐車場についてですが、障がい者用なのか車椅子専用のマークの看板のところへ車を止めるとき、車椅子のシールの人だけ優先でホームセンターなどで売っている。障がい者用のクローバーのシールを貼っていても「ここは障がい者用駐車場です」といわれた。それで私も「障がい者です」と答えましたがいちいち云うのも引け目に感じ、なるべく違う場所に止めましたが、堂々と言葉に出さなくても良い方法があればいいと思いました。車いすの人のみならず、障がい者の人も兼用のシールでもあれば、と思います。
- 障がい者の人は、見た目で見えない方が多いです。特にろうあ者、内部障がい者はまったく健常者の方と見た目では変わらないため、困ることが多々あります。（出掛けた時など）かといって、いつも手帳を持ち歩いているというのも少ないと思います。なので、今妊婦さん用のキーホルダーみたいなものがあるように、そういった障がい者の人達にもわかるように服とかに気軽につけられるようなバッジみたいなものがあると良いと思います。例えば障がい者とわかるような、でも、気軽に見た目でもつけられるような物があれば、例えば、外出先で電車等に乗った時に、困ったことがあっても車掌さんを始め、周りの人にわかってもらえやすいと思います。このようなことを思ったのは、以前、電車の中で健常者の方が障がい者（ろうあ者）と知らずに相手に対して思い切り怒って怒鳴り散らしていたのを見たからです。
- 障がい者の認定後のフォローが全然ないです。こちらから問い合わせをしないでも、それなりのアドバイス等があってほしいです。

- 障がい者等級が何級であろうと身体が不自由なものには変わりはないと思います。手足が動くというだけで、等級が決められているような気がします。それと本当の意味で障がい者の気持ちをわかった上で施策をしているようには思えません。今、現在の福祉は等級の重い人のためだけにあって私たちのような者には利用すらできないのが現実です。確かに手足が動いて一人で歩くことも車の運転もできますが、だから不満言うな！！というのも今の福祉だとも思っていますし、実感しています。他人から見て障がい者であるとわからないだけに、どこへ行くにも周りを気にしながらでないといけないのです。いろいろな福祉を充実していただけるのはとてもありがたいことですが、心ある福祉をお願いします。障がい者全ての人達が利用できる、災害時要援護者移動支援が望ましいと思いますし、それを願います。私自身、障がい者と呼ばれる身になって初めて福祉とは名ばかりだと知りました。障がい者イコール厄介者というレッテルをはずさない限り、変わることはないでしょう。それと悲しいかな障がい者の家族がそれを逆手にとって障がい者を利用しているのも現実です。すべての人々に感謝できる福祉をお願いします。市の職員の皆様、よろしく願いいたします。私自身、市の福祉課の職員の方たちには気持ちよく対応していただいております、感謝しております。
- 障がい者に対して負担が大きくなっている。市や県の支援を受けるにも大変です。支援も減ってきています。（減った！！）乳幼児の支援などを中学までにするくらいなら、もう少し障がい者に！！支援してもいいんじゃないですか。収入は関係ない支援はおかしいです。
- 補助具等の修理や給付申請の際に、障がいの級別によって申請できる機種が限られ、もう少し融通を利かせていただきたいと思います。例えば私は聴覚障がい3級だが、補聴器を耳穴式にしたいが（汗をかきやすく、耳掛け式が壊れやすいから）耳掛け式しか申請できないなどの制約があり、自由に補聴器を選べないという不満があります。どんな補聴器であれ、補助金を差し引いた分を自己負担にするなど、自由な選択をみとめてくれるとありがたいと思います。それ以外については相談内容をFAXでお願いすることがありますが、すぐにFAXで返答を頂くなどとても助かっています。これからも気軽に相談に行きやすいような優しい福祉の窓口であることを切に願っております。また転勤族など新しく春日井市に入ってきた障がい者に対しても、最初はとても知らない土地で不安だと思いますので、福祉のサービスについても詳しく教えていただくと安心して春日井の町に住むことができると思います。そういった意味でも消極的になりがちな障がい者に対してもっと積極的に福祉のサービスをアピールして誰が障がい者になっても安心して住めるよう情報を発信してほしいと思います。

- 本人 48 歳、平成 16 年 3 月 17 日岡崎にて脳出血のため、頭蓋骨をはずして手術を行い、さらにポリープがあったので 2 度目に、それを取り除くために手術をしブロックをかけました。5 月に岡崎の病院の先生により春日井へ移転を申し渡されまして、リハビリの充実している病院がいいとのことで新築されたばかりの病院へ転院いたしました。利用としては神経内科も整形も内科も充実しているということで知人より紹介されまして入院いたしました。小学校 5 年生の子どもがいますので、40 日の長い夏休み一人にしておけませんので 8 月に退院して週 2 回リハビリに通院しました。主人は一家の柱ですので働きに行きますし、娘 19 歳はアルバイトに変わりました。時々面倒をみますが、実家の祖母が泊り込んだり通ったりして家事や私の面倒をみてくれています。祖母も 77 歳の高齢ですのでヘルパーさんを時々お願いしております。リハビリは車椅子用の車で週 2 回リハビリに通っていますが、不安もいっぱいあります。ベッド類はレンタルで借りています。バリアフリーは市の援助で何とか車椅子の出入りができるようになりありがたいことです。広報で足の靴も前払いでなく 1 割負担でできると書いてあり、心強い限りです。今まで全部先払いで後納でしたので入院費、杖、椅子、靴等本当に負担が大変でしたけど、ありがたいと思っております。どうかこれからも（文化）も大変結構ですけど、身障者、児は本当に泣いております。どうか温かい行政をお待ちしております。私のように高齢者でなく子育ての最中の者は家族、小さい子ども等考えて自分ひとりでいつも悩んでいます。身障者 1 級左半身マヒでは心ばかりあせっております。広報にも福祉のコーナーを多く設けてください。
- 名古屋市に比べて全てが遅れていると思います。
- 障がい者の助成制度などが今後廃止されるのではないかと心配です。

(6) 移動について

- 福祉センター、市役所等に行くのに公共交通機関（バス等）の便が悪いです。移動支援でお願いするのも難しいようで困っています。（視覚障がい者 2 級）
- 市役所～ハローワークのアクセスが不便である。シティバスの路線、走路を考えるべきです。また本数も少なく運転が荒いです。今回初めてですが継続してよい春日井を作ってほしいです。美しい日本でなく、住みやすい春日井にしてほしいです。
- 万一、調子が悪くなった時、自分で運転して病院へ行くのが難しい場合等、タクシー等使用できるようにしてほしいです。（救急車の必要のない場合）
- 病院に行く時、バスで通いたい時、障がい者に手を貸してもらえる人をバスに常時いてもらえると助かります。バスの乗り降りの時、少しステップを低くバスを改良してほしいと思います。少し助けてもらえば、リハビリにもなると思いますが。市の福祉サービスの人達、一度話をする機会をつくってください。もっと話を聞いて、障がいの人のために、改善してください。一度何処を直したらいいか、みんなの意見を聞いてみてください。よろしく申し上げます。
- 保健センターなどに行く場合に交通手段が少ないです。巡回バス（市）をまわしてほしいです。車のない者にとっては不便です。

- 福祉に直接、関係はございませんが、このアンケートが市長のところに行くとのことですので書かせていただきました。私は月に2~3回、市民病院に通っています。大手町に住んでいます。大手~名鉄春日井経由のバスが通らなくなり、大変不便に思います。身体の悪い私にとって、町屋まで歩くのは大変きつく、なんとかならないでしょうか？
- 春日井でバスを市民病院行きをしてもらっていますが、6年前に夫が入院していたので、バスを利用して病院に着いて降りる時、一段降りたところで、バスが発車したので、バス停に倒れこんでしまい、怖い思いをしました。(一人しか乗っていなかったのに、降りるのを見ず) 元気な人だけが利用しているのではないので、もっとしっかり教育してもらいたいです。

(7) 医療について

- いろいろあるが、たくさんありすぎて、何から言ってもいいのかわかりません。一人日々悩み精神障がいも進む一方、まだまだ医者でも理解してもらえない現実です。外出が無理な私にとって自身の身体を治そう、したいと思ってもまず行きません。1か所で解決というか、診察できる病院が実情ではないので困っています。医者個人が真剣に向き合ってもらえない気がしていて、結果、何処もわからない仕方ない、適当な診断で看続けそのお陰で余計なところまで悪くしてしまいました。悔しいです。字を書くのも辛く(書けない)文章ではこれで精一杯です。どうかわかってもらえるといいのですが…。
- 春日井市民病院で機能回復訓練などのリハビリをしていただいていたのですが、身体が元の状態には戻らないので病院には来るなといわれました。少しずつ手や足が動いていたのですが、今は、身体が硬くなりますます動かなくなりました。
- 後遺症が悪化しても、なかなか級が変わりません。特に腰痛、しびれについては第三者の判断が困難なため、医師の診断も重視してほしいです。
- 病院での支払い時ですが、私は障がい者1級で無料のため領収書、明細書などが渡されません。それでいつも何にいくくらい使われたのか知りたいのですが、わかりません。無料であっても、治療内容が正しく記載されているのかどうか、患者がその場でチェックすることは必要ではないかと思えます。それで無料であっても明細書などを発行することが義務付けられたらと思います。

(8) 環境整備について

- 駅の近くの道路の工事で、絶えず掘り返しています。車椅子や杖で行動するのに危ないです。
- 名古屋方面の病院へ行ったり買い物に行こうとしても、JR春日井駅はまだバリアフリーになっていないので足の悪い者にとっては不便です。改造の予定はあるのでしょうか。
- 交通機関が不便、道路状況が悪いです。全部に不満があります。
- 特に交通機関の充実、移動支援(ガイドヘルパー)をお願いいたします。

- 現在名古屋市の学校へJRを利用して通っていますが、自宅から一番近い春日井駅から車椅子で名古屋方面に行けないため、工事中の神領または勝川まで行かなければなりません。春日井駅から名古屋方面へも階段、段差なしで利用できるように考えていただけると大変助かります。
- 春日井保健所で障がい者トイレが整備されていなかったのにビックリしました。車椅子を利用するのに不便でした。
- 駐車場において、身障者マークを添付していても、実際には駐車できない場合があり、やはりマークはホームセンターではなく手帳を見せ、福祉課で渡した方が不正がなく、よいと思います。春日井市民病院への交通の便が高蔵寺からは悪く、不便しています。春日井駅が中心となっており、本駅では階段が多く、とても大変に思っています。早急の改善を希望します。
- 市民病院の駐車場について…私は大腿骨頭壊死により、右が人工股関節、左も骨頭の壊死を広げないように体重をかけることを制限されています。手術や痛みの具合により、自分の車椅子、松葉杖、ステッキを変えながら使用します。月に一度、膠原病の診察で市民病院にいきます。雨の日に車椅子を自分で下ろすだけでびしょぬれになり、松葉杖も傘がさせず雨の中、走ることもできず、濡れて行きます。ビニール合羽を着るしかないのですが、車椅子も濡れるし、院内では濡れた合羽を持っていなければなりません。最近身障者駐車スペースが広くなりましたが、屋根のないのは改善されません。幸い今はステッキなので、傘もさせてさほど困ることはありませんが、この先また車椅子等になった時のことが心配です。下肢障がい、聴覚障がい、視覚障がいといっても十人十色で、すべての人が満足できるような施設の建設は不可能だとは思いますが、私自身、車椅子ユーザーであっても、下半身不随の人とは不便の内容が違うと思います。今後公共施設の建設の折には、一人でも多くの障がいを持つ人の意見を聞いていただければ…と思います。福祉に携わる人全てが交代で障がいの疑似体験をしてくれるといいのに…とも思います。それも最低1週間継続して、1時間やそこらを室内で体験しても本当の不自由さは実感できません。松葉杖で買い物することだけでも不便なことはいっぱいです。
- 春日井市民プールに通いたいが、プールに車椅子では入れず、不自由しております。できた頃は受け入れもしてもらえず、名東区の障がい者プールに通ったときもありましたが…。(遠いため無理になりました)その頃に比べれば、受け入れはしてもらえたので良いのですが、車椅子ごと入れる場所(スロープ)をどうか作ってください。宜しくお願いします。
- 春日井市民会館の障がい者用の駐車場の設置についてお願いをしまして、現状では自転車置き場との関係で、危険であり設置困難とのことでした。現在、市役所玄関横に3台のスペースがありますが、私は車椅子を使用するまでにはありませんが、歩行となるとやや困難であり大変辛いものです。健常者から見ればたいした距離ではないように思われますが、私どもにしてみれば大変であり会館入り口は東へ回りますので、長い距離です。会館での催し物があるときに参加はどうしても消極的になり、出掛けることができません。市玄関よりわずかと思われるかもしれませんが、もう少し障がい者にご配慮願えれば嬉しく思います。

- 障がい者のマークは市の福祉課、及び警察署のみで発行できるように改善してもらおうと良いです。今、カーショップで誰でも買えるから問題があります。日本人のモラルが低下したために当面は仕方ありません。
- 現在は親・兄弟が健在で一緒に生活していますが、いずれ自立して生活していかなくてはならないので、将来が不安です。駅やバスを時々利用していますが、うまく歩けないので駅の階段やちょっとした段差に足をとられることがあり、怖い思いをすることがよくあります。エレベーターかエスカレーターを設置して安全な街づくりをしてほしいです。年々からだの機能が低下しているのですが、平日は仕事をしているため、全然リハビリを受けることができず、土日にリハビリを受けることができると助かります。
- 健康な方の体育館やスポーツ施設が整っているのに、障がい者が歩いたり運動する施設が少ないです。(近くになく) 健常者と一緒だとぶつかったり等、つい遠慮しなくてはなりません。
- 道路の電柱があつて、車が通ると危ないです。歩道が傾いているので車椅子が車道に落ちそうになります。自助努力自己責任という言葉を安易に使わないでください。
- 手術で身体障がい者になってリハビリする所がないと思いました。個人の病院、スポーツクラブ等に入らないといけないのですが、専門的な知識のある方々によるリハビリ施設があつたらいいと思います。(市民病院だけでなく他のところで手術した人も通えるところ) 今後、高齢者が多くなり、寝たきりにならない予防としてあつたらいいと思います。(市のプールとか福祉の里にそんな場所を作ってほしいです。)
- 住所の近くで通所、リハビリセンターの充実をしてもらいたいです。(カートで通所できる場所)
- 春日井市の温水プールの件・・・シャワー室は梅雨時、雨の日、何か臭いがします。衛生面はいいかなと思います。着替え室からシャワーを浴び、プールサイドに通る時、冬は寒さを感じ、高齢になってくると寒さで倒れるかと思っています。冬はプールの利用避けています。
- 私は足が悪いので自転車で移動していますが、歩道と車道の段差がすごくあり、また歩道と溝のふたの段差があつたり、また信号の角にカラーコーンみたいのがあつて通る時、少し不安です。段差が多いと足に響いて痛いです。

(9) 経済的支援について

- 不動産収入が少しあるため、国保の金額が一般収入の人々と同じくらいの支払いなので、とても負担で苦しいです。固定資産も健康な時と同じで給料収入がないので生活が苦しい為何とか軽減していただけると、とても生活が楽になります。よろしくをお願いします。
- 現在障がい者への公的手当てが支払われていますが、もう少し金額を増やしてもらえるとありがたいです。(私は障がい年金に該当しない等級ですのでそこから援助を受けられない為)

- 障がい年金が少なすぎるから、生活に困ります。家族がいると家の掃除とかに入れないらしく辛いです。家族も休みがほとんどなくて、帰りも夜中とか夜9時10時だからです。
- 障がい者手当てがほしいです。

(10) 災害（緊急時の対応）について

- 今一番心配不安なことは、災害時の住居のことです。万が一地震で建物が倒壊したりした場合のあとのこと等です。
- 夫が仕事中に災害が発生した場合、家には高齢者と障がい者の妻だけであり避難場所まで避難できません。
- 病気をいくつも持っているので、災害時のことはいつも不安です。ニュースなどで見る避難所では難しい感じがします。透析なので。
- 今地震が来る前に速報で知らせてもらえるようになりましたが、ろうあ者の人は聞こえないので、全くわかりません。そのために逃げようにも逃げられず、また夜中だと全く困ります。なので障がい者のいる世帯にはランプ式で知らせてくれる警報装置みたいなものがあればかなり安心できます。

(11) アンケートについて

- このアンケート用紙では「身体障がい者」と害の字がひらがなになっているが、これはどういう意味があるのですか？
- 自分は結婚しているのですが、このアンケートにも相談する相手などで妻がありませんでした。障がい者だから結婚できていないように感じました。作成にももう少し考えてほしいです。
- 現在6級の障がいでいますが、お陰さまで自分のことは自分でできる状態で仕事の方もフルタイムの社員で働かせて頂いておりますので満足しております。いただいたアンケートにあまり当てはまらないように感じました。すみません。
- このようなアンケート等、インターネットのHPを利用して回答できるようにしていただけるとありがたいです。
- 障がいの種類や程度で、もっと分類し支援すべきです。個人情報外部へ出さなければ良いので、市がもっと細分化すべきです。例えば、身体障がい子ども、成人、老人の立場でまったく別のものになります。今回のアンケートにおいても私は場違いと感じます。
- 記入後、チェックしましたところ、妻、障がい2級と思って記入しました。改めて妻として記入訂正をしました。誠に申し訳ございません。チェックの○印に×は白紙(記入なし)といたしますので、宜しく御願いたします。

- 本アンケートは障がい者向けでなく、高齢・障がい者向けのようです。また春日井市は防災無線はただの行政無線(各施設間の連絡用、現在は携帯電話だけになりつつある)だけの利用ではないでしょうか？(無線はほとんど使われていないと思われる)以前も似たようなアンケートがありました、それらは活用されていないのでしょうか？(害)の字を使わないのであれば、ひらがなでもいいですが、(碍)でもいいと思います。同じ意味です。
- せっかく送っていただいたのですが、交通事故の後遺症ということで、日常生活にはほぼ支障がありません。ただ未だに痛みや歩行には多少の困難な面もあり、苦勞する場面があります。従って、本当に苦勞されている方と同じようにアンケートに答えることができていません。ごめんなさい。
- 本アンケートは無記名によるものであると思いますが「災害時要援護者移動支援申込書」も合わせて提出するような記載があり、個人を特定できることになりませんか？もし同封して提出するのであれば提出者の個人情報の保護をしてください。

(12) 行政への要望

- 私は難聴障がい6級ですけど、聴力の安定性がありません。悪い時は補聴器をつけてもつけなくても相手の声が割れてしまい何を言っているかよくわかりません。耳の障がいに対してもう少し考えていただきたいと思います。左耳は90デシベル以下、右耳は60～70デシベル内耳の悪い感音性難聴で安定している時は良いのですが、疲れたりストレスが溜まると会話が困難になり筆談になります。4級～3級以下との差がありすぎます。もう少し難聴者の不自由さを理解してほしいです。
- 春日井にはNPOがたくさんあるそうですが、各々がいろんな活動をしてみえるので、そういった情報を流してほしいです。(たまには広報でいろいろな企画や催し物も含め)例えば、障がいのある方たちを支援するNPOも各々なので、是非ネットワークを作って啓発に取り組んでいただきたいです。民間に丸投げ～肩代わり～まかせっきりにするのではなく、行政が指揮をとって、福祉ビジョンの中で民間の力を活用してほしいです。福祉ビジョンをはっきり出してほしいです。
- 障がい支援について市側は充分な配慮をするため、努力をしていることと思いますが、特に最近言われてる行政での不祥事に対する職員の意識改革についてどのような指導教育をされているのか不明です。業務は大変ですが、意識改革に努めてほしいと願います。
- 市・警察・福祉職員に対して障がい者などへの理解をもっとわかってほしいです。障がい者といっても千差万別あり、市・警察・福祉など職員は最低限の知識を持ってほしいです。

- この度アンケートに回答しつつも、これまで知らずにいた制度やサービスがあることを確認しました。しかし人生いつ何処でどんな障がいに遭遇するのかわからないものです。今現在も自分自身が「制度」を利用して頂いている身ではありますが、ともに暮す家族や周りの人達などのためにも、「充実したセーフティネット」を市政において築いていかれることを願っております。勿論、ハンディを持つ我々の努力も欠かせません。いろいろな方面で厳しさがますます増している今日ではあるけれど、がんばります。そしてこれからもどうぞ宜しくお願いいたします。
- 受付から事務までがオープンとなっていますが、訪問した際に近くの職員に無視されたことがあります。
- 不妊治療の助成を、まず市が与えてくれて(例えば無料で)、産婦人科などにかかれるようにしてください。

(13) その他

- 今はヘルパーさんに助けていただき、何とか心の不安定もなく感謝しています。65歳、介護保険になった時どうなるのか。市役所へ相談に行きたいと思って、切に願っていますが、車椅子で、子どもたちともなかなか休日の日が合わず、未だもややのうつ状態ですががんばって一つ一つ納得していくことが一番だと思っています。主人も歳で喘息、血圧高く、できるだけ負担をかけないようにしたいと思っています。何とか64歳まで今のままヘルパーさん、リハビリ等できたら生きる力にもなりますが、少しでも今の状態に近くなることを切に願っています。65歳になっても夢の家に週2~3回行けますように。
- 民生委員の人は今どんな仕事をされるんですか。自分の担当地区の人の顔も知らずにいますがどんな人なのでしょうかね。
- 民生委員の委任が安易過ぎます。どういう基準が設定されているのか、公開の上、任命していただきたいです。本当に民生委員と云える人材を起用してほしいです。
- 私は現在、母親と生活しております。しかしその母親も高齢のため、私が仕事をしながら家事もこなさなくてはなりません。今のところはなんとか片付けていますが、これがいつまでできるかわかりません。また母が他界すれば私もだんだん高齢になってきて、身の回りもおぼつかなくなり、定期的に通院しなくてはいけないので、たぶん養老院も難しいと考えています。いまからどうしたものかとふと不安になることがあります。
- お世話になっております。小生は介護不要ですので福祉関係でお手伝いできることであればやります。現在は近くの中学で週末にテニスのコーチをボランティアでやっています。ウィークデーはまだ勤めていますが、65歳になり、近く非常勤になる予定ですのでよろしければご案内ください。
- 自動車の手続き(有料道路、ETC)などの時は市役所まで行かなければ手続きができず、遠いものには不便です。今は介護保険の手続きは支所でできるのに。

- 車の駐車スペース、障がい者のスペースを設けていただいて、とてもありがたく利用させてもらっていますが、小さなスーパーetc は 2 つ程で健常者が容易に止めていて運が悪いと雨でも屋根なし、遠いスペースしか空いてないときがあります。「障がい者のための国際シンボルマーク」も容易に購入できてしまい、ある程度の規制が必要ではないかと思います。
- 介護保険について、身体に不自由がなくても面談でわからない部分（認知等）理解されませんが、家族の負担を考えてほしいです。介護度が軽くなれば家族は大変です。（家族が働いているので）認知症は良くなることはないので、半年毎の更新は面倒です。一番の願いは若いけれど働くこともできない 50、60 代の人中心の施設の充実です。
- 春日井市はコロニーなどあるせいか、障がい者が多いなとつくづく思います。私自身も障がいがありますが、今は歩くには支障がありませんが、将来この町で暮してよかったなと思える町にしたいですね。
- 福祉とは別かもしれませんが。高齢で台所がつらくなります。そのとき食事を運んでいただくのも良いが、足の働くうちは民間、市でもよいから老人の憩いの場みたいなところで食事ができると良いと思います（デイサービス）。一般の一人住まいの人が大きな家で一人寂しく生活してみえるので、そういうところを市が手を差し伸べて、人の集まる場所、そのほかいろいろ使わせてもらいたいです。
- 今、自分が障がい者という立場になって、いろいろサービス(恩恵)を受けているのだとは思いますが、少しずつではありますが、将来の不安はいっぱいです。例えば介護保険での訪問介護等利用者負担額減額についても、今年度より 97/100 を市が負担してくれたのが、94/100 に変更されました。金額にしたなら 2 倍を負担することになります。この先このような小さな値上げ(負担増)が一番の不安材料です。障がい者医療費負担も、現在障がい者は負担率 0% ですが、5%、10% となっていくのではないですか。収入がない状況において、こういったことは真綿で首を絞めかかっているのではないかと思います。障がい者にもいろいろなタイプがあって、働けるタイプ、まったく働けないタイプ等も見極めて考えていただきたい。この先も高齢者、障がい者にどういった対策を持って進めていくか、生きている間はしっかり見極めていきたいです。
- 今は平衡障がい主人が仕事を辞めて、家事のことを手伝ってもらって母が 89 歳。私が障がい主人は働けないです。
- 私の場合足と手が自由に働かないのですが、見た目でもわかりづららしく、人の多いところは避けています。今のところ、自分でできることはリハビリだと思い、何でもがんばっています。福祉の方に言ってもそれぐらいなら、といわれます。不満を口に出すのはもう嫌です。私の場合、交通事故で身体障がいの 3 級なのですが、国民年金なので国からお金が出ません。厚生年金は 3 級からあるのに、どうしてですか。これから先、仕事もできないし息子夫婦と暮してはいるのですが、住まわせてもらっていて、食べさせてもらっています。それ以上何もいえません。市からの少しのお金では何にもなりません。なにかいい方法はないですか？
- 人工透析者の今後のいろいろの不安はあります。

- 今のところ困ったこともなく、運動・リハビリと他人様に迷惑をかけぬようにいたしております。
- 私は現在通常生活では不自由を感じていません。市からも援助金を頂き、感謝しております。老後のことは不安ですが、世間並みの悩みで今は健康で働けることに感謝しています。今後、何かでお世話になるとは思いますが、宜しくお願いします。
- ずっと春日井市に住みながら、地域のことがあまりわからないまま過ごしてきました。これからは身近なことから、特に障がい者を取り巻く環境を考えていきたいと思っています。
- 皆様のお陰で生活ができております。姉妹二人でありがたいと、いつも思っております。これからも宜しくお願いいたします。
- 援助額が少ないです。（1 か月あたりの金額をもっと上げてほしいです。）年末調整時の障がい者控除金額をもっと上げて、税金を安くしてほしいです。原油高が進んでいるため、ガソリンの補助をもっとしてほしいです。住民税がかなり高くなったので、安くするよう議会で話し合いをして、安くしてほしいです。高速道路の利用料金をもっと安くしてほしいです。新幹線利用の場合、乗車券は半額になるが、特急券は半額にならない。どうにかならないのですか？（乗車距離が 100 km 以上しか安くないのも疑問）障がい者駐車場に健常者の車が停まっていることがあります。もっとしっかり管理できないのでしょうか？春日井市、愛知県だけでなく、もっと全体でしっかり考え、運用を考えて障がい者がちゃんと働ける環境、施設を充実してください。税金免除がどこまでできるのでしょうか？市役所などの職員の態度・言葉遣いをもっときっちり教育して、民間企業でも通用する人間を育成してください。
- 春日井南気噴町土地面整理組合 仮精算金について (5122764) 身体障がい者等級は 1 級、仕事できないため支払いがこんなにあります。

2 知的障がい者

(1) 相談について

- 一番の不安は私たちがいなくなった後、どうやって生きていくのだろうかということです。今はもう7~8年在宅で日中2人で変化のない生活をしています。身体は丈夫なので今は仕事を探しています。でもこれがなかなか難しく、就職できても長続きしないので、私も一緒に働かさせてもらえるところと思っています。こういうことについて相談に乗っていただけるところがあると助かります。
- 家族より…今はまだ45歳で仕事をして(パート)生活保護を頂いて生活していますが、でもこの先、兄弟姉妹も亡くなり一人きりで高齢となった時には不安になると思います。そんな時、相談できる場がもっと身近にあると暮しやすくなると良いと思います。宜しくお願いします。
- 障がい者生活支援センターの専門の先生が今までいろいろ相談していたのに、突然変わってしまうのが悲しいです。前もって教えていただきたいです。

(2) 情報提供について

- 不満をあげればきりがありません。これ以上悪くならないように一生懸命生きていくが、生きがいを見つけることができれば楽しい人生で終われると思います。待っていても変わらないので、もっと情報がほしいです。こちらから尋ねに行くにも、何処にどんな風に聞いたらよいか、情報すら届かないので尋ねに行くこともありません。新しい制度の活用やどこにどんな障がい者がいるか、把握して、その人に合った情報をわかるように送ってほしいです。誰もが高齢になってハンディがある者と同じになります。障がい者に優しい街づくりは高齢者にとっても良いことと思います。忘れられてしまう淋しさ、悲しさがないように情報を提供してくれるとありがたいです。

(3) 就労について

- なかなか障がい者に理解のある会社が見つからないです。前の会社も仕事がきつく、社長が自ら暴力をふるい、社員の人の暴力も見過ごし、仕事上の怪我と暴力とでいつも傷だらけです。障がい者で入社しているのに人並み以上に働かせようとしていたのです。今の所も十分でなく、暴力もあります。でもそこを辞めたら働くところがないので仕方なく行っています。
- 障がい者(知的)のため労働賃金が安い(一時間300円)、もう少し手当てが上げればいいと思います。
- 市内への通勤ですが、バスの本数が少ないため不便です。

(4) 福祉サービスについて

- 移動支援について 1 か月以上前から予約をしていますが、支援日の数日前に電話が入り「ヘルパーさんが見つからないので、キャンセルします」と一方的に断られたことが何度かあります。今はまた断られると思うと予約ができません。移動支援、ヘルパーの充実をお願いします。ある短期入所施設の予約は偶数月の第一月曜日から 2 か月と決められています。以前家庭の都合で偶数月の第一火曜日に利用したく、1 か月前に電話で利用を話しお願いしましたが、「偶数月の第一月曜日に予約してください」の一点張りでした。仕方なく他のショートステイ先を探したことがあります。親が楽しみたいから、遊びたいから、ショートステイをお願いするわけではありません。それぞれの家庭には家族がいます。家族にもいろいろと都合ができます。施設側の方針もわかりますが、もう少し臨機応変でも良いのではないのでしょうか？いろいろと書かせて頂きましたが一考をお願いします。
- ショートステイ利用したい時に空きがなく利用できないことがあります。移動支援、使い方や時間に限度があり思うように利用できません。
- 福祉サービスを受けるためのヘルパーさんが少ないのでサービスが思うように受けられないでいます。障がい者がグループでヘルパーさんの援助が受けられると良いと思います。(移動支援)
- 地域生活に必要な受け皿であるグループホームやケアホームなどの住居の整備が進んでいないので、親離れ、子離れができないでいます。福祉サービスを受けようと事業所へお願いしてもヘルパーさんがいないので断られています。所得保障の問題・・障がい者基礎年金が少なく、最低の生活ができない人、ケアホームやグループホームでの生活ができるような年金を考えていくべきと考えます。これが地域移行と考えます。福祉事業所にヘルパーさんがいないのは、福祉の仕事をする人への給与面が少ないので将来が見えなくて不安になり退職してしまうためです。「福祉」は人が行なう仕事です。このことを国が考えないで福祉の向上はないと思います。親が高齢者になって介護を受ける身になったとき、障がい者と同じグループホームやケアホームで過ごせられる方法も考えていただきたいです。
- いつもお世話になっております。月 1 回か 2 回の支援センターを利用させていただいています。はじめの頃こそ嫌がっていましたが、今は楽しみになっているようです。コミュニケーションが取れず、じっと座っているだけの時もあれこれ観察しているようで、家に帰ると話してくれます。(家族だけにわかる言葉ですが)とてもありがたく思っています。本人は勿論、同居の母親も 90 歳を過ぎていますので、今後どのようになるのか、それが少々心配です。弟妹で面倒を見るのが当たり前ですが、それも限界があり一時的にでも助けてくださる場所があれば本当に安心して暮していけると思います。

- 2～3年前のことですが、居宅介護を利用させていただきましたが、手続きの煩わしさ（申し込み時）に対し、一方的な形でそのサービスを打ち切られてしまった時の戸惑いは未だ理解ができない状態です。何が原因で？何が理由で？半強制的で…。後々当時関わってくださった人々のヘルパーさんに事情を尋ねたところやはり「何故でしょう？ありえませんよ」との言葉でした。それ以来、福祉サービスには期待を持たず、今はなるようにしかならない・・・とあきらめの境地です。今回このようなアンケートを利用し、意見できたことを幸運に思っています。
- 福祉サービスを利用するには手続きやいろいろなことで時間もかかり、何か月も待たなければいけないので、もう少し早く利用できないものかと思います。
- デイサービスは一年前までは1週おきでしたが、今は3週間に1回しか利用できません。ショートステイは一年前は送迎をしてくれましたが、今は送り迎えをしないといけません。利用したい時は前の日にバスで連れて行き、またバスで迎えに行かなければなりません。バスの時間も少ないので朝送って行って、家に帰ると昼が過ぎます。前のように送迎ができないでしょうか。一か月前はショートステイを利用しようと思って、電話したら女性の方は空いているが、男性はいっぱいで断られました。仕方ないので昼間は弁当を作り、夜弟が帰るまで8時過ぎまで一人で留守番をさせました。なにもなく(事故)帰ってきて、顔を見たときは涙が出ました。主人(父親)も他界し、私も70歳目の前です。私が元気なうちはいいが、病気、そして死んだ後、この子はどうなるのか、兄弟には(結婚していない)無理かなと思っています。今は弟の方には福祉課に行って相談するように話していますが、できればショートステイの送迎を切にお願いしたいです。
- デイサービスに通所しておりますが、介護員が長くて2年3年で移動してしまますので利用者の状態をあまり把握できず、職員が変わるたびに利用者が不安定になり、なかなか利用者の進歩がないように思います。今の悩みは排尿のタイミングがわからないことです。トイレは男女とも1個しかなく、急に増やすことは無理かもしれませんが、生活介護の施設として認めた制度に問題があると思います。また曜日ごとに指導員が変わるため、1週間を通して利用者を見ていないことです。
- 我が子は重度の障がい(激しい自傷行為)があり緊急時ショートステイに安心して預けることができません。現在は1対1で支援してくれるレスパイトを利用していますが、実費がかかるため長期に必要な時は利用できるか、不安です。重度の障がいがあっても安く安心して利用できるショーとステイを切に望みます。通所施設の日割り計算が困ります。体調が悪い時、通院の際など休むのをためらうことも度々あります。施設の職員の給与が減ることは施設の質が落ちることに繋がります。安心して通えるよう援助をお願いします。職員、ヘルパーの給与を一般企業並みに引き上げてください。家族を養っていけるだけの金額にしてください。施設の今後が不安です。重度の我が子ですが、入所ではなく地域に暮し続けたいと考えています。親亡き後、ケアホームに入り、人間らしく今の暮らしに近い暮らしをさせてやりたいと思っています。そのためにはケアをする人の給与が低すぎます。今のままでは安心して死んでいけません。改善をお願いします。

- 移動支援のサービスを受けています。今までできなかったいろんな体験ができてうれしく思っています。現在は送迎のサービスがありません（有料）。知的障がい者は一人で交通機関を使つての移動は不可能なので、親が送迎ができなくなった場合が不安です。移動支援の中に、送迎も含んでの支援をお願いしたいと思います。知的障がい者の場合、災害時の移動はコミュニケーションが取れないため誰でもいいというわけにはいかないことを認識してほしいです。
- 以前のように●●●で日帰りショートをしてほしいです。（●●●●を利用したことがあります、利用時間が決まっているため、とても利用するのに不便だったから）
- これまで利用していたショートステイ制度がとても使いづらくなり利用できない場合が度々あって困っています。通所施設へ日中通い、宿泊施設へ移動でき、翌日朝再び通所施設へというシステムを是非再開してほしいです。今後生活ホームを利用したいと思いますが、そのためにかかえる経費は子どもの年金だけではやっていけません。行政による補助で一生涯安心して障がい者が生活できるよう、保障してほしいです。通所施設へ通っているが、そこで働く人々の人件費（賃金）の低さを改善してほしいです。介護者の質や人数に影響することだし、働く人の意欲にも関わります。
- ショートステイの場合、生活用品全部自己で用意しなくてはいけないので、病院に入所時のみ必要用品まで準備することは難しいと思います。長期間のショートステイの場合、衣服及び必需品の入れ替えができない時の対応も考えてほしいと思います。
- 介護している家族の緊急時に、安心して預かっていただける施設があるといいのですが…。
- 不満に思っていること…日中に行く場所は選ぶことができるようになったと思いましたが、ショートステイはまだ利用者が選ぶことはできません。市内では一か所が独占しているように思われます。場所も地域が偏っていますよね。もう一点は、日中、作業所を利用してからショートステイを使えないという点です。生活は24時間連続しているのでは、午前9時～午後4時くらいまでは作業所でその後を繋ぐ支援をお願いしたいと思います。
- 作業所へ通っている者ですが、親の緊急時など、日頃からいつでもショートステイ、短期入所ができるように受け皿を作ってほしいです。また家族だけでなく、外部とはこういうものとかがわかる（本人に）よう、練習をしておきたいので、そんな場所がほしいです。
- 以前は生活介護の後ショートステイに移行できたので助かっていたのですが、それができなくなり非常に困っております。ショートステイでの日中の活動内容が乏しく、また夜間の見守りにも不安があります。是非行政のお力を発揮してほしいと願っております。
- 移動支援が一日5時間という制限をなくしてほしいです。こんな制限があるのは春日井だけです。とても不便で困っています。

- 親亡き後も本人が安心して希望を持って生活していけるような体制作りを進めてもらいたいです。施設に一律に入所させるのではなく、ケアホームなどで本人の希望する生活をできるだけ早い時期にはじめられるよう、サポート体制を整えてほしいです。そのためにはサポートしてくれる職員が安定して仕事ができるよう、予算をしっかりと確保していく必要があると思います。
- 現在ケアホームで月～土まで生活しております。てんかんの発作が大変多く、いつ発作が起こるかわかりません。障がいの重い子はコミュニケーションをとるのに時間がかかります。特に発作を抱えた子は昨日今日で子どもの様子もわからず、時間がかかります。以前は居宅支援で、ヘルパーさんがホームへ入ってくださって、発作があっても安心しておりました。現在はヘルパーさんは使えず、夜間などとてもとても心配しています。以前のように必要な時にいつでもヘルパーさんが使えるよう、市の方で援助していただきたいと思っています。親も高齢になり、安心して子どもが生活してゆく姿を確認したいといつも思っています。福祉に携わっていただいている職員の方がもっと安心して生活できるように考えていただきたいです。労働は大変なのに、給料の面とか市の職員さんなみにできないものではないでしょうか。
- 毎日通えるところがあり、私も日中、パートの仕事ができて助かっています。9時からの仕事ですが、けやきの家も9時からで少しあわてながら車で走る日課です。送迎をしていますが、これから私も歳を取って車が運転できなくなったら・・・と考えると不安です。また重度の知的障がい者が多く、パートさんをたくさん使っていますが、時間給は低いものだと聞いています。また職員さんの給料も大変低いと聞いています。そのために離職する人が多く、たいへん困っているとのこと。高齢者の介護サービスにしても、福祉3Kと言われる中、好きで仕事をしているのに、やはり男性は家庭を持てば好きばかりではやれません。福祉に関わる人達の給料の安定を求めます。いつかつぶれてしまうのではないかと不安もいっぱいあります。どうでしょうか。
- 現在、居宅支援・移動支援のヘルパーは不足しています。同性による支援が男性の場合は難しいことになってきています。福祉の場で働く人への保障を行政に担ってほしいです。そうでないと障がい者は生活ができないことになってしまいます。自立支援協議会にはもっと積極的に活動してほしいです。何故部会が立ち上がってこないのか？本当にやる気があるのか？本当に春日井市で障がい者は生きていけるのか？支援者が生活できず、職場から離れていつている今、心配は膨らむばかりです。明確な答えがほしいです。
- 日中ショート、緊急時のショートの受け入れ等、単価が安くて事業所がやらなくなったこと等、サービスの低下に繋がります。財源がないことが問題だと思うが消費税をあげて福祉に回すとか国単位で考えてほしいです。重度のケアホームがなかなかできてきません。入所も縮小で重度の人は行き場がありません。家庭で看なさいということなのではないでしょうか。親も年老いてきて共倒れになりそうです。

(5) 障がい者施策について

- ショートステイで事業所が少なく緊急の時が心配です。本人が望む支援、施設の充実とヘルパーさんの充実を強く望みます。以前は日帰りショートが利用できましたが、現在はそれに変わるものとして日中一時支援がありますが、それに対応している事業所がなく、利用できません。日中の作業所からのショート泊まりが利用できなくて不便です。宿泊体験の場がないです。重度の障がい者のためのケアホーム等があればいいです。そのために親はどんな活動をすればよいか、よくわかりません。どんどん高齢になり、安心して本人を任せられる施設があれば、と思います。地域で生活するという方向に進んでいますが、重度で誰かの助けを借りないと生活できない者はやはり入所施設ということになるのでしょうか？
- 障がい程度区分の見直しについて、障がい（知的障がい）の特性が反映されていないので、見直しが必要だと考えます。
- 障がい者福祉にご尽力くださり感謝しております。平成15年4月より障がい者も自らがサービスを選べる「支援費制度」が始まりました。家族との関わりが多かった本人たちもヘルパーさんという家族以外の方の支援を受け、生活をしたり外出の機会も増え、重い障がいがあっても社会参加するという自立への第一歩を踏み出しました。「障害者自立支援法」と名前を変え、半年くらいで制度の内容が変わっていくという法律になったように思います。自立支援法では本人たちが一番喜んでいる移動支援が地域生活支援事業になり、利用時間数が短くなり、内容が厳しいものになりました。自立の第一歩を踏み出した障がい者が後戻りをしているような気がしてなりません。また障がい者には男性が多いのに圧倒的に男性ヘルパーが不足していると聞きます。安い賃金では男性ヘルパーの生活が保障できずに事業所も確保ができない状態です。また介護報酬が下がり、事業所も運営が大変だと聞いています。障がい者も支援を使っただけの生活に慣れてきたのに、事業所がつぶされてしまうのではと心配になります。国も介護報酬の見直しは考えているのでしょうか？日割り計算等、利用者にとっては利用しやすくなったものの事業所側にとっては見通しが立ちにくいと思います。財政が厳しいのは承知していますが、そのところを何とか事業所への補助もお願いしたいと思います。男性ヘルパーに関しても、民間事業所では確保が難しいので社会福祉事業団のように一定の賃金が確保できるところが積極的に採用していただきたいと思います。最後に移動支援に関して、5時間の利用時間をもっと増やしてほしいことと内容も本人たちが楽しみにしているカラオケも認めてほしいし、目的地での時間も1時間では短いので2時間は認めてほしいと思います。自立支援法でせっかく芽生えた自立の芽を摘むことのないよう、よろしくお願いたします。
- 母（80歳）がパーキンソン病で、デイケアに通っているので、僕のことを歳だからと言って、心配してくれ、いろんな人に聞いていろいろ教えてもらっています。最近、春日井市福祉協議会に障がい者生活支援センターを紹介していただき、両方でお世話になることになり、母はこれで安心と喜んでます。（母の代筆です。）本人はあまり読み書きができませんので私が面倒を見ています。今の制度に大変感謝してますので、これからも宜しくお願申し上げます。

- 施設中心の福祉から、地域福祉と叫ばれていますが、依然多くの障がい者は大人になっても何十人もの障がい者が集まって暮しています。施設がまさに生存権が保障された唯一の暗線で安心して重きを置く終の棲家といわれています。家族が高齢になり、介護が続けられなくなり、中には家族の介護が限界に達し、一家心中という惨い事実もあります。家族にしてみれば折角安全な施設に預け安心したのに、それをぶち壊されてしまったという意見が大変強い状況です。毎日の生活活動、一切の介護が必要とされる。（自傷、他傷、異食行為）等 24 時間危険防止の対応、濃密な介護を受けて生活が確保されています。特に病気になった時、一般の医療機関では適切な治療を受けられないばかりか、診察を拒否されることがあります。何処の病院でも診察治療は大丈夫とは決して言えないのが実情です。年齢、障がい、種別いずれも厚みと幅があり、障がい分野では多種多様な課題があります。長年住み慣れた施設が生涯お世話になる自分の棲家ですと、物事の判断能力のない者が長年の生活習慣で認識しているかと思うと忍び堪えない心境です。このように、一人一人の生活環境、心理状態を掌握されている、安全で安心な施設での生活の存続が保護者全ての切実な願望であります。このような現状を鑑み、施設の存続について、現在入所しているコロニーの再編計画が進められ、解体廃止が叫ばれています。入所者の生命の存続に影響が考えられますので、市の存続に対するご援助を頂きますようお願い申し上げます。
- 春日井市において、障がいを持った人達が安心して地域で生活するための基本方針がはっきりいってわかりません。入所施設に入らなくてもできるような仕組み、例えばショートステイと日中活動の利用、ショートステイを借家でも可能にし、その補助金を出してほしいです。または国の政策通りではなく、本人主体になった「安心、安全」の地域生活ニットを作ってほしいと考えています。送迎金が国から負担され利用者というより家族にとっては助かるという意見を聞きます。しかし、あまりにもその補助金は安く、運転手、助手の 2 名を雇用し、ガソリン代の経費を計算するとやれないと聞いております。施設内に処理すべきことではなく、送迎に関してはしっかりと春日井市は予算を作り、誰もが「行きたい所」へその送迎代を利用して暮していける仕組みを考えてください。●●●●●は、日中活動の場として大変重要な福祉サービスの一つです。家族の方のレスパイトはとても大切なことですが、残念ながら緊急時等利用できず、会員制のところだけです。これをしっかり春日井市の制度として充実してください。本人が日中「●●●●●」に通って、ショートステイを利用することができず、ショートステイに長いこと預かられている人を見ます。本人主体になっていないのでは？と思います。春日井市は 30 万人の人口を持ち決して小さくありません。しかし春日井市だから…。春日井市はすごい！！という言葉は聞こえてきません。
- 親自身もいずれ施設、ケアホームを必要とするときが来ます。老人、障がい者がともに生活できる、そんな場所がほしいです。同じ境遇の仲間の人達と助け合い、親子暮せたら一番安心して元気になれると思います（将来が不安でいっぱいです）。施設の職員不足「特に現場のスタッフ」により、利用者への援助が思うようにできず、なかなか目が行き届かないとの声をよく聞きます。入所している人達にも日中活動の変化を考えてほしいです。

- 本人はこの問いに対して、返答できる能力を持ち合わせていません。先日ケアホームの現状をテレビで視ましたが、彼女が何故年金 8 万いくらかが受け取れて、息子が再認定で却下されたのか、比較してみると確実におかしいのですが、一度認定されると覆すことがない国、県、市のやり方は他の福祉の分野でも見られます。生活保護でも裕福な生活保護者もいれば、死の直前までも受け取ることができない人もいます。見直しをされない、融通の利かない、事務処理がされていますね。知的障がいAの人達は寄付を受けても出す能力を持っていません。親が他のことに使っているだけです。携帯電話（通信料）の減額は障がい者本人は利用しません。ガソリン 100利用券は誰でも車を利用する時代で障がい者だけが使う交通手段ではありません。不要、必要なことに支援をしてください。政府の施策・地域で共生といわれケアホームでの生活に期待していたところ昨年の自立支援法によって不安定な方向になってしまいました。世話人の日割り支給。安定しない収入で福祉に働く人はいなくなります。障がい者は誰でも支援できるという単純なものではないことは理解していただきたいです。
- 障がい者も親も高齢化しています。グループホーム、ケアホームを福祉法人だけにさせるのではなく春日井市の事業として進めてほしいです。ケアホーム 20 人くらいで夜を過ごし、日中はそれぞれの作業所等へ出掛ける。そんな場所が市内の中央部にできるのが親としての夢です。（お友達と楽しく生活する場所があること）

（6）医療について

- 障がい児者医療の充実（救急医療の受け入れ先）遠まわしな診療拒否をやめてほしいです。
- 重度の心身障がい者の医療に着いて（成人）・・・コロニーに内科（成人）の先生を増やしてほしいです。コロニーの内科医は 2 人しかいません。自分の意志の伝える人ならば、他の病院でも気兼ねなく診察できますが、意思表示ができなくてただわめいている人ですと、他の人への気遣いも、待ち時間にあるからです。コロニーの内科医の先生も増やしてほしいといっていました。医療器具も少ないそうです。県の仕事だと思いますが、よろしく願いいたします。

（7）環境整備について

- 公共施設に身障者用トイレはあってもユニバーサルベッドがなく、おむつ交換ができません。JR春日井駅のバリアフリーを早くしてほしいです。
- 車椅子で歩道を歩くと、がたがたで狭いところが結構ありますので、整備をお願いしたいです。
- 障がい者用駐車スペースを増やしてほしいです。知的障がい者の方で車を運転する際には障がい者マークの貼付義務化にしてほしいです。

（8）経済的支援について

- 障がい者基礎年金不足のため、増額を希望します。

(9) 将来への不安について

- 親が他界した場合、弟がいるものの果たして福祉が何処まで支援してくれるか不安です。
- 親亡き後、また親が高齢や病気で面倒を看られなくなったときに心配です。入所施設も減り入所できる可能性はありますか？グループホームやケアホームは本人の障がい年金だけで生涯面倒を看ていただけますか？将来のことを考えると息子はどうになってしまうのか不安です。
- 親亡き後どのように生活していけるのか、見通しがなく不安です。
- 将来親の健康も懸念される中、今後どのような活動ができるのか、本当に安心して子どもが過ごせることができるのだろうかと不安でいっぱいです。
- 私たちの息子は、養護学校から就職しました。学校では半数ほどが企業就職です。その中で働いていますが、社会保険も厚生年金もなく、身分保障もなく、不安です。また親の私も身体障がいがありますが、私は障がい年金がありますが、息子はありません。身体障がいに比べて知的障がいはやはり社会に出てもなかなかコミュニケーションの問題でもなかなか大変です。親も高齢なため、一人で生きていけるだろうか、そのためのグループホームなど本当に望むところです。今は私たちが亡くなくても皆と暮していけるようにそのためにどうしたらいいか、夫婦でいつも話しています。
- 母親が見れないとき、弟が今の所世話をしているが、親もいつまでも身体の調子は良くないです。先はどうなることか、弟も仕事がなく、父も重度の障がいで、手がかかっていました。母親の命のある限り、この生活は最低でも続行可能だが不安な将来です。人の手を借りなければ生活できない本人、40歳過ぎても3歳未満の知能です。安心して預けて、薬で大人しくさせるのではなく、一人の人間として生活できる、温かい生活を望みます。今は穏やかな毎日を生活しています。（通所施設は指導の先生方が本人を中心に最高です。）
- 高齢出産で生まれた一人っ子の身体障がい者です。両親が高齢になった時、入所ということで別れて暮らさなければならない時が来ます。そんな時の寂しさと思いが伝わらないことがあったり・・・心配です。できたら最後まで一緒にいられたらいいなと常に思っております。
- 親の元気なうちはいいのですが、親亡き後が心配です。今の現状ではデイ（生活介護）しか利用できていないです。
- 保護者（父親）は現在78歳。本人43歳。今後父亡き後の生活について施設等への入所を希望しているが簡単には入所もできそうにありません。それでケアホーム等の充実、充足を促進し、父亡き後の本人の生活の保障をどうしたらと悩んでいるので、安心できるような施策を早めてほしいです。
- 将来、グループホームと思っていますが、費用を考えると難しく、生活に不安を感じます。一人で生活ができないと思いますのでこれだけが不安です。

- 将来について、障がい者は両親が健全のうちには身の回りを見るのが可能ですが、両親がいなくなることから心配になります。そのためには地域の人に見てもらうことは限度があります。誰でも限定されずに（金銭面も含め）施設に入れるようにしていく必要があると思います。
- 今、ケアホームに入っています。長年の努力が実り、やっとケアホームに入れたのに、支援費が少ないため、土日や祭日、病気になった時など家に帰らなければなりません。親が元気なうちはそれでも良いのですが、高齢になっていくといつ病で倒れるかわからず、しっかりこのケアホームでわが子を支えてもらえるのか、とても不安です。
- 親が二人ともいなくなったとき、あまり環境の変わらないように生活ができると安心です。（今、通っている生活介護の施設から、そこの入所に切り替えられたらと思います。）
- 将来の不安でいっぱいです。親亡き（母親）後、本人が少しでも明るく過ごせるように切に願っています。
- 親の死後がとても心配です。
- 父母が亡くなってからのことが心配です。
- 親がいなくなったときがとても不安です。
- 今現在、兄が弟の介護をしています。兄が病気なので介護ができない時、弟のことが不安です。

(10) 災害（緊急時の対応）について

- 大きな災害などの時、一般の避難所では生活できないと思われ、特別な支援が必要です。
- 災害時、移動支援制度について・・・希望者、登録ではなく全障がい者に必要な支援と思われれます。避難が困難な障がい者は民生委員、区長などに理解されることなど、まったく考えられません。特に住んでいる地域の民生委員に適正ではありません。（回答）災害が起きた場合、私たち親子は家において、避難はいたしません。

(11) アンケートについて

- アンケートの集計は大変なことだと思いますので、ご苦労様です。私どもの子は比較的軽度な障がいですので、今のところ特にこまっていることはないです。アンケートを頂き、正直びっくりしたのが本音です。あまり深くは考えたことはなかったので、災害時どうするべきか、家族であらためて考えるきっかけを頂き、感謝いたしております。ありがとうございます。
- もう少し詳しくわかりやすく書いていただけませんか。
- 本人は自分で動くことも話すこともできないため、このアンケートには答えることができません。今は●●●●●でお世話になっているので、このアンケートは当てはまらないと思います。

- 県コロニーが施設の縮小、廃止等の話が出て、2年が過ぎ悩みが身近に迫ってきたが、全面解除施設等、受け皿の話は何処からも出てきません。当アンケートの充実させる施策にそのような姿は見られません。我々の家族に明るい未来はあるのでしょうか。
- いつも同じような内容のアンケートで、具体的にこのサービスが充実しているということがないと思います。

(12) 行政への要望

- 健常者の老人ホームのように、介護者がいなくなった時点で入居できる施設がほしいです。
- 今は家族と同居しているのですが、高齢化してからが不安なので施設の充実と、数が少なく探すのに苦労しましたので、通所施設の充実です。
- 現在、両親とも生存していますが、もし亡くなった場合でも障がい者を理解してもらえる温かい世の中であってほしいと思います。子どもは障がい者といってもC判定で軽く見られる場合が多いです。でも障がいはあります。福祉サービスは受けるまでのことがあるのかと考えます。そういう子どもたちのことも知ってほしいです。これから高齢者社会がきます。今後「市」として何をめざせば安心して暮せる市になるか、国になるかをもっと話し合っていただきたいです。あまり明るい未来が浮かんでこない世の中で温かい「市」であってほしいんです。
- 支援員やヘルパーさんのお給料もとても少ないので、定着する人が少ない上に、応募者もとても少ない現状です。春日井市独自の支援策を立てて、障がい者や老人は特別だと思わない教育や街づくりに力を入れてほしいです。障がい者や老人が安心して暮せる町は一般の人にとってもすみやすいところのはずです。

- 現在は以前の措置の時代よりもはるかに福祉は悪化しています。自立支援法、契約の時代で選べる選べるといわれてきましたが、選べる事業所ありません。ヘルパー不足、事業所の職員不足による質の低下。何が原因？補助金が大幅にカットされて職員の雇用ができないといいます。年金で保証されているのだから、利用者の一割負担はしかたがないと思います。財政難なら負担はやむをえないが事業所がサービスの縮小をせざるを得ないような補助金カットは困ります。安定運営できるように市がやらなければいけないことだ！！全て国が・・国が・・と言わずに春日井市はどうするの？福祉計画を作成したって事業所がやっていけないような支援給付金では何の意味もありません。労力の無駄だから、市の職員さん、活字の羅列はやめなさい。事業所が安定サービスを提供できるように利用者が困らないように、市は本気で補助金を出してください。高齢の母と重度知的障がい者のこの二人暮らし。病気で母が倒れても何も利用できません。緊急時に助けてくれるところがありません。ヘルパーが来てくれて、ショートステイに預ける準備も送って行ってくれることも全部できるものはないものか。皆大変不安に思っていることは緊急性のことでしょう。緊急の時だけのために準備できないなんて言わずに事業所任せにしないで、市も考えてください。社協が何とかしてはどうでしょうか。※宿泊する必要性がないのにショートステイは宿泊しなければ利用できない。以前のように日帰り（4時間～8時間）のような利用ができるととても助かります。
- 今、会社で厚生年金など引かれています、受け取る時自分で手続きをできないので自動的に受け取れるようにしてほしいです。
- けいれんという大変な病気も併せて持っており、ともすると作業所で一番大変な人間だとも思うこともあり、知能指数で判定を決められるのはどうかと思います。こんな子どもにこそ親は苦勞することばかりです。またA判定とB判定の差がありすぎると思います。作業所の指導員の方には本当に迷惑をかけており、A判定の方がずっと物わかりが良くて、家の子ども（B判定）は理解できないこともたくさんあります。話も普通には上手にできません。B判定の人をせめて（車社会ですが）自動車税を安くしていただきたりできないものでしょうか？私はこの子もいることですので、仕事にもいけません。大変困っております。ダウン症の人よりよほど知的障がい者の方が対人関係その他難しいことが多いです。
- 障がい者や老人の方たちが不安のない生活ができるようにお願いします。
- このアンケートに書いてあることは本当の気持ちです。いい加減な気持ちではありませんので、よろしくお願いします。住みやすい環境づくりを目指してください。ただ読んで終わりでは誰にもできません。実行してください！！宜しくお願いします。
- 市役所の窓口対応について・・・話を理解して、とても気持ちの良い対応をしていただいた方々の異動後はあまり相談に足を運びたいとは思わなくなりました。（理由）職員が見てみぬ振りをして、こちらが「すみません」と声をかけない限り、対応してもらえない現状を見直していただきたいです。

(13) その他

- 僕はカレンダーどおり、月～金と会社です。休みは土日なので、休日も書類等の受付、相談の窓口を開いてほしいです。僕は普通に生活しています。災害の時近くに住む要援護者は居れば迎えにも行けますので、少しでも皆さんの力になりたいです。
- 私は痙攣をすると自分の名前を思い出せないのが困りますので、仕事が若い頃からできなかつたので私は悔しいです。漢字が書けないし、漢字が読めないのが悲しいと、今頃悲しいと思います。病気がなかったら仕事をしたいと思います。でも私は父が病院通いしていますので、面倒を見るのは好きなので苦しいと思いません。
- (超)重度心身障がい児(者)の扱いについてはどのようにお考えですか。
- 両親が老齢のため、支援をよろしくお願いします。
- いつも本当にご苦労様です。就職をさせてもらい、会社の人にも大変良くして頂きましたが怪我をしたため、危険な仕事と判断をし、会社を退職しました。本人は一般の人達の中で過ごしてきましたので、(小学校までは普通学級)高等部卒業後も、年一度の同窓会も一度参加しましたが、その後は出席をしないといいます。自分は障がい者と思っていないようです。今のところまずまず楽しくしていると思います。
- 療育手帳の中に、氏名、生年月日、交付日などがありますが、身分証明にするのに郵便局など、女男の記入がないので身分証明として利用できないので、記入してほしいと思います。最後の判定は平成14年11月26日でした。
- もう長いこと福祉作業所に行っておりますので、いまどこへ変わることもなく本人が元気なうち、お世話になると思います。また親も高齢になってきますので、健康に十分気を使っているのですが、不安は充分あります。春日井市も●●●の活動がありますが、お互いに親同士が仲良くなり、いろいろなもめごとがあるようで私もこれはどうかと考えます。お互いに障がいの子どもを持つ親がこんなことで良いものかと・・・私どもの子どもは結婚式、お葬式にも連れて行きます。自分の足で歩くこともできますし親がこうだと教えて、旅行も連れて行きます。薬一つ飲むことも、朝はこれ、夕方はこれ、と教えてありますから、作業所のほうも一度も嫌がらずに月～金曜日までは行かねばと思っています。このところ年齢が40歳になります。土日は家でゆっくりしたいとってのんびりCDを聞いたりしています。
- 「障がい者更正施設」という名称は適切ではないと思います。「更正」という語句には悪いものを直すという意味合いがあるように思われ、「害」の字より不適切だと思います。
- 障がいがあるからと、何から何までおんぶに抱っこの姿勢ではなく、少しでも社会にプラスへと持っていくことが最大のポイント。ここにより障がいの違い、まとめていくのは大変だとは思われるか、少々でも働ける環境が広がればと、願います。もちろん補助なしでは生きていけないことも認めますが、一人でも二人でも生き活きと日々が送れることができるなら・・・。

- 老人と障がい者を同一にするようなサービス機関や、障がい認定のテストなどが多すぎる気がします。老人と小児の頃からの障がいまたは途中から若いうちに障がいが発生した人とはまったく形態が違ふと思います。（障がいの度合いにもよりますが）特に知的の場合は心と身体または頭脳がアンバランスな人が多く、普通の就職でも適応できる方もいますが、多くの場合、精神面で健常者よりもデリケートで傷つきやすい人が多いように思います。普通の人なら我慢するとか、笑って済ませることができることも障がい者にとっては、ひどい心の傷となり、せつかく職についてもその職場の受け入れ態勢が整っていないと（雇用する側の心の配慮のようなもの）、身体も続かない人が多いように思います。障がい者自立支援をうたわれるならまずはこれらを基礎からきちっと固めないといく普通の仕事場へ移動することはどだい無理な話だと思います。まだまだ日本は障がい者という名を一つとっても何かの先進国からすると立ち遅れていると思います。あまりにもまだまだ障がい者の、特に知的の人に対する知識が末端の人まで行っていない。それなのに普通の人でもいじめなどで苦しむ若者が（雇用も含めて）多い中に、知的障がいをどうしても送り込もうと（一般社会の枠の中にはめてしまう）というのはかなり無理だと思います。もっと末端の人までそういう人々のことが嫌でも理解できるほど身近に、そういう人たちを理解させるような何かないものかと今のままでは、この先もっと在宅が増えてしまうと思います。
- 書いても実現しないので、やめます。
- 障がい者が地域で暮らすことは本当に可能とっていますか？「お金がない」といわれ、窓口では冷たくあしらわれ、サービスの利用も思うようにいかず…。本当に「生活」はできるのか？就労支援はどのように具体化するのか？就労してからの支援こそ最も大切なのに！！行政主導の福祉を見せてほしいです。ヘルパーの不足は大変不安です。低い単価のため事業所は臨時職員に頼る運営を強いられ、サービスの質は低下する一方です。国の言うとおりにやっけて、本当に私たちはしあわせになれるのか？いわれたことしかやらない事業所の職員では本当に必要な支援は生まれません。人を育てるはずの福祉計画は意味をなしません。名ばかりの計画…で終わるのでは？？このようなアンケートは有効か？我々の声はただ並べられて終わるのではないのでしょうか。

3 精神障がい者

(1) 相談について

- 本人が出掛けて行って相談サービス等を受けることができにくい人への訪問系サービス、相談支援の充実が必要です。
- 福祉課に精神の専門担当の方（女性3人だったと思います）が、いたときはとても不安になったとき相談に乗ってくれたり、アドバイスをしてくれたのですが、精神と介護保険が一緒になってから事務的にもなり、また専門外なのかどうしたらよいか、わからなくなりました。

(2) 情報提供について

- 福祉サービスガイド、「あんだんて」を発行するごとに送ってほしいです。
- 親が死んだ後の金銭管理のアドバイスがほしいです。
- 統合失調症は家族関係がうまくいくと改善されるので、兄弟等に啓発的な文書を送ってほしいです。
- もっと情報公開をしてください。（テレビなどで）

(3) 就労について

- 作業所が狭すぎると思います。
- 両親も早や75歳（父）になり、これから両親が万一亡くなった後一人で友人もなく、職もなく、どうして生きていけばいいのでしょうか。これまで何回も個人の会社に職を求めたが2、3日で仕事が遅いとカ理解度が悪いとの理由で、すぐ辞めさせられて、現在は一日中部屋の中にいる状態です。一年に一度くらい中学時代の友人がボウリングなどに誘ってくれます。そんな時は本当に嬉しいようです。何か少しでも軽作業でもいいから仕事があるといいのですが…。現在薬を飲んで（毎日）いるので、発作は起きていません。仕事に発作が起きることが一番怖いですが…。以前は自宅で内職をしていました。朝から晩まで仕事して毎月約一万円～一万二千元ぐらいでしたが、その仕事もなくなりました。自宅近くで仕事がさせてもらえるといいのですが、その手続きなども良くわかりませんので、歩いて5、6分ですが。（父、記入）

- ①ハローワークの専門職員の育成・・・事業主との連携による一日2時間からの就労。就労者のメンタル面完全フォロー。②作業所職員の待遇改善・・・高度な専門性が必要とされる職場ながら、あまりにも薄給なために職員の定着率が非常に悪いです。現状では各人の清き志によって運営されている感が強いといわざるを得ません。また、ひきこもり者と社会の接点を結びつける役割を果たせるのも彼らではないか。障がい者に手を差し伸べる者がしっかりとした安定感のある者であるために関係各員には手厚い待遇が望まれていいはずです。③健常者の無理解・・・名古屋の例ですが、精神の作業所ができるに当たり、ご近所の猛反対に合い頓挫したケースがあります。一般人は「統合共調症」＝「危険人物」＝「怖い」という認識を持っています。現実とは違う！！一般人の誤認識をこの際行政の努力で払拭していただきたいです。お願い申し上げます。
- 市及び県の職員に精神障がいの枠がありません。未だに身体障がい者にしか道が開かれていません。県及び市役所でさえ、精神障がいに仕事の窓口が開かれていません。現在ハローワークを利用して一般企業への仕事を探しているが見つかりません。今後精神障がいに対する理解を深めてもらいたいです。
- 父からの話で春日井市関係、職員募集（障がい者対象）は精神障がい者は応募できず、身体、知的障がい者のみで、おかしいと言っていました。父は愛知県労働局、そして厚生労働省の方まで電話とメールで抗議していました。法廷雇用率で精神障がい者も含まれるようになったのに、精神障がい者を対象外にするのは（応募できないのは）おかしい！！公共及びそれに関係する団体が積極的に雇用しなくてはならないのではないか？と言っていました。今年3月に大学を卒業し、就職活動中ですが、人事採用担当者の多くが言ってみえますが、基本的には「身体障がい者」を対象にしているので精神は無理と言われ、公務員関係またその関係職員も対象外なのに民間企業がなぜ採用しなくてはならないのか？もし言い分があれば市、県、国に言ってくださいとも言われました。現在もハローワークを通じて就職活動中ですが、大変苦戦しています。父母には大変申し訳ないと思って布団の中で悲しくなり眠れなくなることもあります。
- 春日井市にたくさんの障がい者の会社があればいいと思います。会社の社長さんが従業員の皆さんが全員障がい者さんだと嬉しいです。
- ハローワーク利用時に、相手方が精神障がいと知的障がいを同じものと考えられ、求職者に断られるケースが多いです。そのため、応募企業が限られてしまいます。働きたいです。
- 男性であれば年収300万円は必要と思われるので、そのような就職先の紹介や、医療制度の充実、社会福祉制度の充実。
- 就職情報を詳しく知り、早く仕事見つけたいです。
- 軽作業を中心とした施設を（作業所）設けてほしいです。
- 知的障がい者の情報や職場はあっても精神障がい者の場合は少ないです。

(4) 福祉サービスについて

- 現在、名大病院にかよっていますが、最近前妻とあった時に過去に入院した時の記憶、確か2月下旬頃、夜中にいきなり精神からくるものだと思いますけど、心臓まで苦しむといった状態で、朝あわてて前妻が助けてくれた後1か月半の入院生活が浮かぶという不安感が身体を襲いました。そのため先生には現在薬の調節という形で頭の働きが鈍っています。そのためデイケアへ行っても、カラオケやソフトボールがしたいという気持ちはあるけどその気持ちだけで終わってしまいます。早く楽しめるまでに復帰したいです。
- ヘルパーを利用するのに、共同実践の方が全面支援より利用料が高くなるのはおかしいと思います。逆ではないのですか？
- タクシー券と自動車燃料を今までの2倍くらいにしてほしいです。
- 親に何かあった時（急病とか）に一時的にショートステイできるサービスを提供してほしいです。
- 家に近いところにデイケアセンターがありますが、障がいの程度の軽い（就労している）人達の集まりであったりして、他人とのコミュニケーションの取れないものたちのデイケアセンターがあると良いです。
- 現在障がい者手帳で1~2級に該当する人にもみ通院助成としてタクシーや自動車燃料利用券を配布しているが、3級に該当する人にも支援してもらいたいです。
- 以前、ホームヘルパーサービスを受けていましたが、それがストレスとなって体調を崩し、サービスをやめました。今でも家の掃除などはあまりできていませんが、夫婦で何とかやっています。ホームヘルパー（精神障がい者をやる人）の人柄や質が良ければ利用したいと思いますが、また体調を崩すのが怖いので今は利用していません。子どもがアスペルガー症候群という障がいがありますが、知的障がいではないため、手帳が得られないので障がい者としてのサービスが受けられません。何か手帳と同じ物があればいいと思います（知的障がいのない子を対象としたもの）。
- 軽度の精神障がい者でも、日常生活で困難なことがたくさんあります。利用できるサービスがあったらぜひ知りたいです。
- 一人になったら日常生活がとても困るので、家事のサービスを利用したいです。福祉サービスの中の家事援助より一般の方を頼みたいです。毎日はいらないし、掃除だったら1か月に1~2回で十分（汚くても死なないし）でも回数少ない分、きちんとやってもらいたいので、福祉サービスのより効率が良いものの方がいいです。市にはそういったサービスへの1部補助をしてもらいたいです。利用する人がサービスを幅広く選べるよう、柔軟な使い方ができるようにしてほしいです。市営住宅等、一人で入居できるのはエレベーターがなかったり、お風呂がユニットでなく手入れが大変だったりなので、一般的な市営住宅に一人でも入居できるようにしてほしいです。

- 名古屋市は地下鉄、市バスの無料パス券がもらえると聞きました。春日井市もはあとふるライナーがありますが、私の住んでいる地域には通っていません。通院時には普通のバス、JRを使っています。経済的に痛いです。身体障がい者の方と同じようにバス、JR、タクシーなど（高速道路も）無料や半額になると助かります。そうしないと手帳に写真を貼った意味がないです。精神の障がい者も差別せずに身体障がい者と同じように扱ってほしいです。障がい者と表記にとられず、中身を充実してもらえると嬉しいです。（別に「害」でもいいと思います。）
- 犬山病院に1年間入院後、退院し現在病院内のデイケアに週2回ほど通院しております。名鉄の駅まで送っていき、犬山まで電車、犬山駅より病院のバスで送迎していただいています。一人で行けるようになりましたが、交通の不便を感じ、たまに通院できなくなる日もあります。春日井市内のデイケアセンターがあったらとつくづく思います。調べたところ病院でもやっていたが、活動があまりわかりませんでした。不安なく楽しく通えるデイケアセンターや職業訓練等ができる場所があったら社会復帰ができるのではないかと思います。また、平日はひきこもりで家から出ることもなく、市の福祉サービスの情報はまったくありません。アンケートの連絡ができるのでしたらもう少し本人へのアプローチをお願いしたいです。

(5) 障がい者施策について

- 支援費などの更新時にいちいち面接があり、嫌なことまで聞かれて落ち込んだ気持ちになりました。
- 手帳や自立支援医療受給者証の継続手続きの際に必要な書類などを提供してほしいです。
- 名古屋市在住の障がい者（手帳被支給者）は市営交通機関は無料のようですが、本市に居住し名古屋市の病院に通院する私はタクシー代補助、ガソリン代補助等の施策の恩恵を受けるも、名古屋市内居住、名古屋市内通院者と比較すると交通費負担だけ考えても差があると思います。障がいを持ってから何十年か経過し、春日井市の精神障がい者への施策は充実されてきたと感じますが（医療費の公費による助成など）80歳をかなりすぎた老母との二人暮らし（小生54歳結婚歴なし）の現状、そして将来のことを考えると障がいを抱えての一人暮らし、自身の肉体的、精神的老化を考えると不安は大きく、市の施策のより一層の充実を期待してやみません。
- 障がい年金保険の年金をもう少し金額を上げてほしいです。それですら、一人暮らしをしてアルバイトを探し見つけて生活したいです。ローン返済に全て年金を使っているのでお金がありません。後2年ローン返済が続くのでお金が常に手元にありません。親から貰っている月に2万円ほどなので本当に家（実家）から出て、自立したいです。車の免許あり、もちろん車もあります。親元、兄弟（妹）と離れたたいです。

- 市は一番初めに精神障がい者への支援を引き上げて同じスタートラインから始めることをしてほしいです。立ち遅れているサービスを早急に引き上げることから始めるべき！三月に出された障がい福祉計画概要版は3障がい者が合同で表記されていますが、それぞれの障がい福祉の現状と計画とに分けて書いてください。
- 自立支援医療受給者証と精神障がい者保健福祉手帳の発行期間が長すぎます。手続き場所が名古屋市に変わったこと。

(6) 医療について

- 現在春日井市民病院に通院していますが、精神科医がどんどん減り、現在は一人しかいないので将来がとても不安です。メンタルヘルス科がなくなるととても困ります。総合病院に精神科が殆どないので、将来が不安です。
- 入院時、病気の説明がなく2~3年経ってから診察の受け方や相談の仕方、薬の飲み方の説明を受けました。その訓練で看護師さんや医師への相談の仕方がわかりました。検温や診察の時の短い時間に言いたいことをメモして読み上げて手紙を書いて、医師に届けてもらいました。医師と看護師とケースワーカーと連携して理解してもらっているという安心感があるのは訓練によって相談をしてもいいと思ったからです。院内の掃除（特にトイレ）が行き届いている状態にしてほしいです。当番で8人部屋の布団をたたみ、掃除機をかけました。できることはやれる人でやれば良いと思います。
- 生涯持病を持った自己に対し、いつまで援助を受けられるのか心配です。高齢化すれば病気はますますいろいろなところに多発しています。そういった場合、人道的に諸事所に遠慮して困ります。また期限があれば対策を講じなければなりません。その時にケースバイケースで援助してください。お願いいたします。先の不安を持つのは人の常です。ましてや病気を持っている人（いろいろな病気）は気が気ではありません。年金問題、先の見えない政策では不安です。
- 市役所まで行くのが辛い時もあるので、転院の際の「病院変更」を患者が行なうのではなく、病院からの届出制にしてほしいです。市民病院に精神科（メンタルヘルス科）の入院施設がないのは不思議です。医師も不足していて、開業医でも予約はいっぱいで、病院をも選ばません。

- 以前、病院で入院したときに措置入院になったのですが、そのときに指定医が私が話してもいないことを私が話したかのように書き綴り、長期入院になりました。カルテ開示を要求しなければ何が書かれていたのか、自分がどのような疑いをかけられているかすらわかりませんでした。自分はそばにただで、自分が嫌疑をかけられていることも知らされていませんでした。次に車の免許を更新すればゴールド免許であったのに、その時の主治医の先生によれば、措置入院中は外に出られないので免許更新はできないと言われ、ゴールド免許はまた 10 年待たねばならなくなりました。このときどのような疑いを持たれて措置入院になっているか知らされていませんでした。こういったときに指定医も主治医もどのような理由で入院しているかも伝えてくれませんか。こういった先生達をどこに訴えればいいのか、弁護士に頼るとしたら何処の弁護士にどうやったら入院理由を先生から聞き出すことができるのかを、またこういったときの補償を私が受ける権利などを相談できるところがほしかったです。（だいぶ経ってからカルテ開示が浮かんだが）指定医が面接に来たときにも、どこで勤めている誰とも名乗りもしなかったのも失礼な人達だと思いました。病院に移る前に名古屋市の病院にいましたが、こちらでは朝食を出されなかったり（それでも食事代を請求された）男の看護師というのに至っては点滴の注射針を腕に差した状態で針を回すのをやめず、私の腕に針の跡ができました。病院に対しては慰謝料をもらうだけでは許すことはできません。看護師の資格を剥奪し入るところに入ってもらわないと思います、どこに訴えたらいいのか、警察か、それともどこか医療関係に対する何でも 110 番があればと思います。病院のようところが救急指定病院だというのは疑問を感じます。何か不満だらけになりましたが、何でも医療 110 番ができて相談できたならなあと思います。
- 病院で終身入院をお願いします。

(7) 経済的支援について

- 一人きりになったときの経済的不安と精神的不安。昔お金に困って医療費だけでも何とかしてほしいと市役所の福祉課に行ったら、貧乏人は病院に行くなと言われたことがすごくショックで、今でもやっぱり病院の費用が足りなくて困ることが多いです。（このこといったのは男性の方でした）
- 働けないことによる生活費の問題です。
- 障がい者の通院時の交通費の支援の無料パス券の発行等、通院・デイケアに行くにも現在約 1500 円（往復）程度かかります。
- 名古屋の病院に通院及びデイケアに参加していますが、1 回の交通費が 1000 円かかります。名古屋市民ではないので JR も地下鉄も 100% 支払っています。せめて JR 代の補助があればかなり助かります。

- 今、いくつかの補助金を頂いていますが、世帯全員が非課税でないといけない補助金もあります。障がいがある人に対する補助金なのに、どうして全員の方がいけないのでしょうか？障がいのある人は多かれ少なかれ社会から「白い目」で見られているはずですが。収入も健常者に比べて少ないのが実情ではないですか？どうして補助金を頂くのに非課税だ、収入制限があるのでしょうか？理解できません。実際これから先どうやって食べていけばよいのか不安でたまりません。貯金も今とりくずして使っている状態なのでいつまで持ってくれるか・・・障がいのある人がこれから先何の不安もなく生活していけるだけの補助を希望します。
- 精神の障がいである傷病名で診断書を出しても保育課では「病気理由での入園は2か月のみ許可」となり、2か月ごとに状況説明しなくてははいけません。体調が悪く働けない期間があっても保育料はそのままなのでとても家計の負担は大きいです。保育料（特に4～6年保育）が高い階級（？）ランク？なので精神的に余計負担がかかります。保育料を払うためには働かなくてははいけない→でも働けない→通院でもお金がかかるのに精神的に追い詰められる。という毎日です。少子化という割には保育園の入園許可枠も狭い気がします・・・病気療養で入園許可が出ている家庭の保育料は無料にしてください、とまでは言わないので割引してもらえると助かります。これでは子どもたちにもうまく接することができず、とても悩んでいます。

(8) 将来への不安について

- 本人自身が覚えようとし、金銭感覚がありません。介護士の人から「お前はご飯を食べるな」と言われると親に訴えることもあるが、一度看護婦さんに聞いたら、そんなことはないといわれました。本人の訴えが本当なのか妄想なのか、この先どうしたらよいか不安です。
- 昨年1月ごろから体調を崩し、2月から通院しています。1、2週間ごとに病院に行き、薬も飲んでいますが全く良くなりません。今年に入ってから「死にたい」という言葉が増え、自傷行為、大量服薬も何度も何度も繰り返し、パニックになったり全く目が離せません。申請は3級ですが、誰に何をどうしたらいいのか、わからず娘と二人、死んでしまおうかと悩む日々です。国立大学を目指し、明るくスポーツの得意だった娘。体育の教師が夢だった娘。一日も早くあの頃の娘に戻ってほしいです。この娘のためにどうしたらいいですか？
- いつもお世話になります。福祉に役所、保健所にカウンセリングや相談に行き、いろいろ教えてくださりありがとうございます。数十年になりますが、なかなか治らず、私も（母親）歳を取り、身体が辛いです。私がくたばったらあの子はどうなるのか心配です。一人で生きられないので施設（この子）生活ができる場所がほしいです。これからも私（母親）ががんばって世話していきます。精神科入院は皆一緒（いろいろな病気の人達）とこの子を思うと心配で仕方ありません。宜しく願いいたします。

- 3年前引っ越してきたので、当地の事情が不明です。近所との上手な付き合い方、土地が変わり、多少ものの考え方が違うことがあり、戸惑うことが多いです。一般の生命保険等がかけられないので、親の保護ができなくなった時（一人になったとき）生活ができるか、一番の不安です。また親の財産があるわけでもないのに、残してあげられるものがありません（家、生活費）。一人だけいる親友とも離れているので心細いです。
- なにか将来が不安で仕方ありません。だんだん身体が崩れていってどうしようもないです。
- 頭の中ではわかっているけど、それを文章にすることができませんし、ただ自分自身、これから仕事ができるのか、親（母）との同居がうまくいくかわかりません。母はアルコール依存症なので、精神的障がいを持っている私とうまくやっていけるか不安です。不安とはいってもたくさんあります。自立しなきゃいけない。自分を傷つける（リストカット）。金銭的なこと。子どものこと。また入院するまでにいたるのか。こんなアンケートでなにがわかるんですか？何かしてくれるんですか？いざというとき、他人は他人で所詮人ごとで、真剣に話を聞いてくれる人がいますか？今自分自身、こうやって書いているのもばかみたいです。こんなことして意味があるんですか？精神的な障がいを持っていないとわかってももらえないと思います。なりたくてなった病気じゃないのに。こうやって書いていてもなんかむかついてきます。なんでこんなこと書かなきゃいけないんだよ。ふざけんな。余計イライラするわ。わけわかんないこと書かせるな。わけわかんないよ～！！これからどうすりゃいいんだよ～。市役所の窓口行っても意味わかんねえんだよ。もっとわかりやすく言え！！
- 今は両親がいるので頼っています。一人きりになったとき銀行や郵便局、役所をうまく利用できるか、また一人だとガスコンロを使うことが怖いので一人きりになったときに食事の調理やお風呂を沸かすこと等が不安です。現在は名古屋市にある病院に通院していますが、歳をとってから片道1時間30分もかけて通院することができなくなるのではと思っています。将来は家の近くに精神科のある病院に通院したいですが、なかなかありません。
- 現在、通院は家族に送迎は世話になっていますが（夫に世話になっている）夫が車に乗れなくなった時を思うと先行きが不安であります。
- 親としての将来の不安・・・親も高齢となっていており本人が一人となったとき、どのような生活がしていけるのか大きな不安がです。（1、経済面・・・本人就労の経験がなく、現況では仕事はできません。2、日常生活・・・食事、洗濯等 3. 近所、他人とのつきあいが全くありません。）
- 本人一人で日常生活ができません。親が病気になったとき、入院した場合等です。自分で生活していけません。家の掃除、食事づくりなどホームヘルパーさんをお願いしたいと思っています。

- 私たち夫婦も年齢を重ねるとともに、先のことを考えると夜も眠れないくらいです。わが子が何もできない病気で人の手を借りないと生活ができません。自分で自分のことが何もできない状態の現在です。私たちが動ける間は良いのですが、二人ともいずれは動けなくなり、何もしてやれなくなったときのことを考えるといてもたってもいられません。そうなった時にこの子が安心して一生を送れることのできる施設ができれば良いと思います。どうか宜しく願いいたします。私たちは老人ホームにでも入所したく思います。
- 障がい者の子育て支援があると助かります。子どもが大きくなるにつれて、学校、社会と接する機会が増えると思いますが、人と会うことや外へ出ることがとても大変なので、不安に思います。
- 将来の不安は障がい年金が2級なので、年間80万円近いお金ではもう暮らすことができません。あと親が死んだ後一人になるので、障がい年金を1級200万円2級180万円3級170万円ぐらい出さないともう生活ができません。まあ、障がい者さん、誰でもそう思うと思います。
- 私は今、家族と暮していますが、将来は一人で自立して暮したいと思っています。今将来のために年金を貯金していますが、月6万円ほどの年金を貯めても、どう考えても生活費だけで消えていってしまうくらいのお金しかないのです。普通の家賃を払ってなんて一人暮らしはできません。どうか県営住宅や市営住宅を单身でも障がい者なら入れるようにしてほしいです。そうでないとずっと親元にはいなくてはいけません。それかグループホームを増やすとか、とにかく今ある年金の中で生きて、自立できるように、暮していきたいです。安心してどう考えてもお金がないのでお金のない人にはやすい家を貸してください。ずっと家族の世話になるのは気が引けます。あと精神障がい者に対するイメージをもう少し悪くないようにしてほしいです。理解ということにつきますが、普通にみんなそこらにいるんだって。怖くないし人を傷つけたりしないし。お金がほしくて障がい者雇用をしてもやっぱりイメージが良くないから安心して障がい者だって言っても、いられる町にしてほしいです。
- 私は月に2回くらい名古屋のクリニックへ通院して薬を貰っているのですが、将来年齢が経って通えなくなったらどうやって診察してもらったり薬を貰ったりしたらよいのか不安です。

(9) 災害（緊急時の対応）について

- 災害時に薬が手に入らない場合、落ち着いていられるかなど不安です。
- 災害が起こったとき、自宅にいられなくなった場合、普通避難所等に一時的に寝起きをするんですが、私はできません。バスや電車はもちろん、エレベーター、他の人が触れたもの（買い物カート等）も触れないのに、同じ空間で共同トイレなどは全く無理です。私みたいな精神障がいの方は他にもいると思います。何とかならないでしょうか？災害でパニックになったうえに共同生活では発作ばかりの毎日になってしまいます。よろしく願いします。

(10) アンケートについて

- 前向きにアンケートをしてくれる市の姿勢に感謝します。

(11) 行政への要望

- 障がい者は仕事ができないケースがあるため、生活保護に頼ろうとすると、管轄が違うとって取り合おうとしません。障がい者にとっては死活問題なのに、市役所内部での横のつながり、対応ができていません。
- 公的負担の書類、障がい者手帳の申請等、各種申請、受け取りを郵送または日曜、祝日等にできるようにしてほしいです。家族の同伴なしに遠くの市役所まで行かなくてはいけないのはとても辛いです。また公費負担は、決められたとおり 3 か月前に申請したのに 3 か月後に新しい書類ができず病院等で非常に不便です。「3 か月前」と決められた期間に行くのもやっとならばってできることなので、せめて有効期限までに新しいものを頂けたらと思います。
- 市町村の枠を超えて、施設を利用したり障がい者にも理解があり暮らしやすくしてほしいです。2 年ほど前から名古屋の小規模作業所に通っていますが、交通費もかかり定期券でも使えればとても助かります。名古屋の支援センターなど利用したいと本人は言っています。
- 今のところはある程度持っているお金で生活でき、国民年金も払えますが後 10 年後いったいどうなるのだろうか？政治家さんたちも考えていないわけではないけれど、何か余りに弱者に風当たりが強すぎるように思います。もっと社会保障の充実を望みます。
- 長男の闘病生活は長く続くだろうと思われます。支える家族も高齢化していくわけで、今後出てくるであろう問題にその都度対処するための相談、助力支援してくれる組織の拡充を望みます。
- すでに実施されている地域のように、他科への通院治療へも助成していただくようお願いいたします。親子がまだ元気なうちに子が独り立ちできるようにするのが目標ですが、本人と少しずつ距離をとることの必要性をととても感じています。市にグループホーム、ケアホーム等ない状態ですが、一人暮らしの前段階として利用できるホームを市が主導して設立してください。
- 国民健康保険税の軽減
- 年金をもらえるように申請していますがもらえるようにしてほしいです。
- 障がい年金などをもう少し増やしてほしいです。

- 春日井市だけではないが、市内のキリスト教会で精神障がい者をだましたりいじめたり、その財産を狙って奪い取ろうとする教職者が本当に存在します。いわゆるカルト宗教です。宗教法人であることを「隠れ蓑」とし、信者を騙し無理やり奉仕をさせ、ただ働きをさせ、「言うことを聞かないとぶん殴るぞ！！」と言って脅かしたり、本当に暴力を振るう教職者がいます。そのような「悪いやつら」を何とかしてほしいです。やつらは社会の「寄生虫」です。役所の方々が保健福祉に日夜がんばっておられることは、大変良くわかっており、感謝もしています。しかし、それ以前にやるべきことはたくさんあると思います。まず社会問題にもなっている悪徳宗教家たちを何とかしてほしいです。春日井市はどちらかと言えば保健福祉は充実していると思います。そのことについての不満・不安はあまりありません。しかし、上記のようなマイナスの面も他市に比べて少ないとはいえないのです。そのためにも悪徳宗教家（特にキリスト教の）を処刑していただきたいです。
- 現在年金ももらっているので、扶助料は奇数月にしてほしいです。
- 両親とも亡くなり、実家の兄夫婦も調子が悪く帰る家がなくなりました。退院の話も出ておりますが、一人では生活できません。幸い経済的にはグループホーム入所できるくらいはありますが、精神障がい者のホームはないと職員の方の話です。どうか一日も早く安心して過ごせる場所をお願いします。
- 障がい者手帳交付は3か月も前に診断書を市役所に出しても、名古屋で処理しているためか約5か月後にしか手元に来ませんでした。早く出しても意味がありません。病院の医療費減も病院にいくたびに言われて、手帳も交付日切れているもので、約5か月何回も呼び止められ会社に行くのに行けず、時間の無駄でした。前のように春日井市で発行していただけるか、3か月以内に発行していただけるのであればいいのですが。何とか早く手続きをしてください。地下鉄、障がい者の付き添いがないと障がい者定期券がないとのこと。障がい者は子ども料金と一緒にないので、子どもの料金の定期券（一人で行動できる人用）を作してほしいです。また子ども特別ユリカ以外でも、子どもユリカが使えないのは何故ですか？子ども料金なのに子ども特別でも5000円くらいのものであればよいです。名古屋に住まないと障がい者一人用の定期はないらしいです（毎日切符ユリカで買うから時間の無駄）。名古屋に勤務月曜～金曜までフルタイムで働いていますが、対象になりませんか？毎月日割りでしかいただけないのでしょうか？1級、2級ばかりすごい良い待遇で、3級は待遇悪すぎだと思います。（住宅、車 or タクシーチケット等）精神にも甲乙などがあれば、JRの長距離が安くなるのですが・・・。※JRのような回数券があれば時間短縮できますが。
- 年金に関しては、障がい者手帳を発行してもらった時点で、自動的に免除してほしいです。申請や手続きが複雑で、何度も市役所や社会保険事務所に行かなければならないので、訪問してくれるか病院で手続きできるかにしてほしいです。

(12) その他

- 私は子どもがほしくて、今薬を（精神薬）を飲んでいることで生理が来なくて悩んでいます。産婦人科で不妊治療をやりたいのですが、病院に受け入れてもらえるか心配です。今通っているメンタルクリニックと産婦人科が提携がないから、総合病院で治療した方がいいと言われますが、体外受精をしないと生まれたい気がします。メンタルクリニックの先生には運動をして、体重を落とすようにすれば妊娠しやすくなるといわれたのですが、信じられません。（たぶん痩せてもできない）痩せてた時期も妊娠したことがありませんし、減量のため一度ジムも行ったことがあって、ただで利用できて嬉しかったのですが、車でしかいけない距離なのでできたら近所にあるジムでもただで利用できたらありがたいです。プールは近いのですが、着替えたりむだ毛の処理も面倒なので近くのジムがただじゃなくても少し安くなったら暇な日にでも行くのに……。わがままな相談かもしれませんが、医師からあまり車を利用しないようにと言われている私にはジムは遠すぎて行けそうにないです。総合病院でも体外受精できる病院を近くに増やしてくれたらいいのになあと思う日々。しかしまだ状態が良くないのでとても不妊治療もできそうにないです。
- 姉として心配していることは、寒くなるのでストーブの火の始末とか転倒して怪我をしていないか（数か月前ありましたので）等です。とにかく日常のことが何もできない（身体は動きます）。65歳にならないと福祉のサービスが利用できないと聞いておりますが……。
- 3年前に両親を亡くし、その後一人暮らしです。それで第一介護センターにホームヘルプしてもらっていますが、春日井市の福祉課は本当に心より感謝します。ですが、第一介護のヘルパーさん、市役所は水臭く市役所福祉課より上位のように思います。ヘルパーさんが相談に乗ってくれません。親身になってくれません。通院介助も書類上面倒です。また健康診断も受けなければいけない等。お役所的な面が第一介護サービスセンターにみられます。働いている職員は待遇が良いが利用者はそれほどでもよくありません。社会福祉協議会が直接介護センターをやった方がよいです。（名古屋市のように）ただ時間が正確であること、昼食に間に合うように来てくれること、そのことが良いだけです。まあ普通の市役所、民間とサービスが同じです。一長一短であると思われまます。春日井市の福祉課には不満はありません。感謝しています。親戚は春日井市内に多くいるが、いとこばかりでほとんど手を差し伸べることはしてくれません。独居はさびしい毎日を送っています。病気のとくに困ります。特に内科（消化器内科）。
- 身体障がい者手帳は公に見せられるが、精神障がい者手帳は見せにくい感じがします。
- 充実していると思います。

- 12月9日までは体調が非常に悪く、自分の住所、名前も書くのが辛く、おきて腰掛けても字が書いてあるのはわかるのですが、頭に入りませんでした。12月10日から、少し気分が上向きになり、本人12月15日AM2時、眠れないので挑戦したら思いがけず書けましたし、字もまともに書けました。様子を見なければわかりませんが「ソウ」に変化したのかもしれない。いままで本市の保健福祉について「春日井市だより」も読めない状態ですので、なにもわかりませんでした。福祉の書類の申請も理解できず、ヘルパーさんに読み上げて助けてもらい、記入してきました。年々「ソウ」が少なく「ウツ」がひどくなっています。今日書けたのがうそのようです。今後とも宜しくお願いします。
- 入院しています。5、6年家は月に2回帰るだけ。あまりよくわかりません。
- 私は今デイケアに通って、薬も飲んでいますが、病気の再発が怖いです。先生からは薬を飲んでいればといわれています。家庭内では母と別居中の姉と姉の赤ちゃんと暮っていて、姉の旦那のことで悩んでいます。姉は1週間前まで旦那と暮していました（二人の赤ちゃんがいるのに、姉が働いて旦那は働かず赤ちゃんの面倒も見ず寝てばかりいました）。今姉の旦那は働き始めたようですがたまに来て、姉と母、兄からお金をたかっているの、それを見ているとストレスが溜まります。私は姉と姉の旦那が縁を切ってもいいと思いますが、なかなか切りません。姉の旦那は怠け者で姉と子どものことを考えないのが本当に腹が立ちます。これからそういうことを支援センターに相談に行くかもしれません。将来の不安はやっぱり結婚です。昔から結婚への願望はあって、一度もしたことはないのですがいつかはしたいので、早く病気を治したいです。仕事は若い頃にしていたのでもうしたくないです。アルバイトとかはするかもしれません。（先生が働いてもいいと言ってくれたら）今は、喘息（私）になってしまい、デイケアに行けないのが残念ですが、早く治していけるようになるといいなと思います。今は喘息を治します。
- 家は二人とも障がい者ですので、何かと大変お世話になっています。今後ともよろしく願い申し上げます。
- 市役所への手続きは父にやってもらっていて、内容は私では理解できないのですが、自分でもできるようになりたいです。年金の仕組みもわかりませんが、もらえて助かっています。

4 障がい児

(1) 相談について

- 市役所の窓口で、職員の言動で不快な思いをしたことが何度もあり、市へ相談することに不安がいっぱいです。職員の教育をもっとしてください。コロニーの職員・医師・看護師はどの方も感じの良い人ばかりです。見習ってください。
- コロニーに頼りすぎている部分があります。相談にいつでもすぐコロニーの話が出たり、一般の人との交流も少なく春日井市の福祉には不満があります。これから中学など行く場合、何処に相談していいかわからず、何の情報を見ていいのかわからず、全然充実した福祉にはなっていないです。もっと気軽に話せる場や、同年代の障がいを持った親たちの交流がほしいです。周りに同年代の子どもが居ないため誰にも相談できないことがあります。
- 子どもの保健師さんが地域別で決まっていると思いますが、地域とは別に専門の担当（障がい児担当）がいるといいです。何でもどんなことでも相談ができると気持ち整理ができて、今後の進路などが考えることができると思います。特に母（親）が子どもの現実を受け入れなければいけないので、親身になって話をできると前に進めると思います。今、心配なことは学校（普通学級）で自立して生活ができるよう、先生と市との協力です（親との関わり）。本人の気持ちに合った進路に市・先生と一緒に応援する気持ちを持って進めてくださるようお願いいたします。電話などでお話をした際にとってもさみしい思いをします。福祉課では親身になってお話をしていただいていると感じますが、やっぱり他の課ではそれよりも「分けられる感じ」があります。身体障がいのある子どもの親になり、初めて「障がい」について関心が出たので、他の方もきっと身近に感じていないと思います。まずは市のほうから杓子定規な対応ではなく、親身になってほしいです。私はまだ子どもの現実に一つ進めただけで、福祉についてまだ何もわかりません。今後いろいろ相談させていただくと思います。宜しく願いいたします。他の障がいのある方も幸せに安心して暮せる市であってほしいです。
- 少し前の新聞で見ましたが、障がいをもつ親の相談、意見交換会があったようです。障がいにもいろいろありますが、このような親の意見交換会が障がい別で企画されると嬉しいです。特に小児の自閉症やアスペルガー発達遅延など、まだ障がい固定されず、どんな症状で訓練がされているかなど、情報交換や不安の解消、サービスなどの手続きの2度手間などの解消がされるように思います。このようなアンケート配布はありがたく思います。
- 相談に行っても自分のことを良く理解していない人ばかりなので、まったく的外れの答えが返ってきます。福祉福祉と世間は言っているが、全く進歩していないし、福祉の関わったことのない人、ましてや障がい児に接したりしたことがない人が相談窓口だったりするので、理解してもらえないのがくやしいです。

(2) 情報提供について

- 障がい児を持つ親が福祉サービス等の情報は、こちらから耳を傾けていないと得られないことが多いので、市から誰にでもわかりやすく情報を発信してほしいです。
- 乳児の時期などデイサービスに通える前の時期に相談できる場所が少なく、また情報を入手する手立てを知りませんでした。
- 自分の子どもの能力に合った訓練の情報や民間にたくさんあるようなら知りたいです。
- 障がいの種類や、程度により、いつどのような療育を受けたら良いですか？また何処にどのような施設があるか等の情報がすぐわかるようになっていません。（症状が軽い時等、親も見過ごしている時が多い）病院などの紹介だけに頼ってでは適切な時期に有効な療育を受ける機会を逸してしまう可能性があります。
- 生後すぐコロニーへ入院し10ヵ月後退院したので、その間の市の健診には行けず、一歳半健診も発達が明らかに遅いもあり受けなかったのですが、その後言葉の遅れや、入園等の絡みもあり(3月で3歳になるので)そこで初めて療育の児童デイサービスを紹介されました。もちろん保健師さんも知らない状態でした。健診に行かなかったのは私の問題でもあるのですが、いろいろな理由で健診を受けない人もいます。タイミング的に行けれないとか…。障がいに対する情報収集も簡単ではありません。完全に把握できるわけではないので、逆に市の方からアクションしていただけると助かります。

(3) 就労について

- 娘は難聴で耳の聞こえが悪く、4歳ですが会話もできません。今は障がい児を預かってくれる保育園に通っていますが、保育園に入る前、いろんな保育園に電話をかけましたが、「障がい手帳を持っている子はお断り」が多く、少し離れた保育園が一つ見つかりました。2年後、小学校は名古屋の聾を考えていますが、市役所でいろいろ調べても、春日井市には難聴の学校は一つもないといわれ、不安です。
- これから進学していく子どもにとって最大限のフォローを考えた時に、どんなサービス等があるのか？利用が可能なのか？などもっと情報を得たいと思います。学校でのイジメをなくすために普通学級と特別学級のかかわりをもっと増やしてほしいと思います。
- 将来、ジョブコーチがつけば、就労ができると思います。ジョブコーチの養成、充実に強く希望しています。
- 障がい児通園施設が少なすぎます。保育園へは決められた園にしか行けないようなので、（障がい児枠があるところのみ）もっと入園可能な保育園を増やしてほしいです。自宅のそばの園に入園できれば、小学校に行っても、知っている友達も多く、本人にとっても精神的に楽になるのではないのでしょうか。また他の子どもたちも障がい者に対する接し方も、小さい頃から身について、いいのではないのでしょうか。

- 障がいがある人でも健常者と同じ、住みやすい街づくりをしてほしいです。通園施設や療育施設、授産施設を充実させてほしいです。保育園や学校も、健常の子どもたちと学べるように受け入れ態勢を整えてほしいです（地域の学校・保育園に通えるようにしてほしい）。
- 障がい児が入園できる保育園、幼稚園は限られています。それなのに保育園によっては面接の時にひどいことを言われ、その保育園は近いのにあきらめたと言う話を聞きました。もう少し園長先生など、障がい児を受け入れてくれる園は、どんな障がい児でも入園できるよう勉強すべきであると思います。
- 電車で移動したい時、車椅子では利用できない駅が多すぎます。重複重度障がい児が入れる学校が少なすぎて、親の負担が大きすぎ、学校へ通わせるだけで疲れ果ててしまいます。学校内もまだまだケアが整っておらず、安心できません。義務教育だというのなら、もっと体制を整えるべきだと思います。
- 保育園を選ぶ際、家から近くても障がい児枠がなく、遠い園に入らないといけません。それと同様に小学校も校区の学校に行けない場合があります。障がい児も当たり前のように地元の保育園、小学校、中学校に通えるようにしてもらいたいです。大阪のある小学校では、障がい児も普通クラスに入り、勉強は一人先生がつき、その子どもに合わせて教えていました。（10年以上前から取り組んでいます。）他の生徒たちともとても仲がよく、絆が強いようでした。支援クラスはありますが、やはり他の子どもとの接点が少なく、友達も少ないように思います。どうか子どもの立場になって療育を考えていただくようよろしくお願いいたします。もっと子どもたちのために大切な税金を使っていただきたいと思います。「市長が変わっても何も変わらない」と言われないようにがんばってください。
- 学校に通学させていますが、校区制のため子どもや親の考え方にあった特別支援を受ける教育を選ぶことができないのが現状です。また障がいの程度にかかわらず、親や子にあった普通学級での皆と一緒の教育が「加配の先生」をつけることができないといわれ、十分な機会が与えられているとはいえません。現在の特別支援学級の先生が専門機関（ことばの教室、言語聴覚士や発達心理士）の先生との連携を受け入れるのが困難であり、学校の先生の閉鎖的な対応が子どもに対する効果的な取り組みをすることに対しての障がいとなっている現状です。コーディネーターの先生はいらっしゃるけれども、専門性に乏しく、機能していない状況です。ひとりひとりに合った子どもを伸ばす教育をするためには、先生たちの子どもひとりひとりの障がいや、個性の理解、目標を持った働きかけが必要ですが、現実的には伸ばすどころか、つぶすようなことをしていることも多く見受けられます。それは研修も受けずに知識も理解もないまま、特別支援学級の担任にするシステムそのものに問題があります。その際にも先生の人間性も十分考慮された上で、決して普通学級が持てないから、特別支援学級を、という構図になどならないよう、逆に本来なら普通学級の子達よりもより細やかな教育する能力が必要であることを再認識していただいた上で、先生の人事配置を行なっていただきたいと思います。先生を育てていく余裕と時間が、私たち親にはないのです。迅速な対応を期待します。

- 学校を卒業後、どこかに就職すると思いますが、一人で生活できるだけの収入は得られないと聞いています。最低限の年収は必要です。また親が居なくなった時の支援（施設入所）など充実してほしいです。特殊学級の先生の教育の徹底（専門の先生）。自立に向けた教育（勉強、日常生活の訓練）。
- 就労に向けていろいろ考える年頃になりました。コミュニケーションが苦手と言葉だけでの理解でも苦手なところがあります。でも作業実習では集中力、仕事の正確さは評価していただき、本人の一生懸命な姿も伝わってきます。よく一般の企業に就職した人の中で、人間関係コミュニケーションの問題でうまくいかず、辞めてしまうケースを耳にします。もっとどうにかならなかったのかと心が痛みます。周りの支援を受けられるのはどうしても授産施設、作業所といった限られたところではか補償されないのでしょうか？企業はどうしても利益追求になってしまうため・・・と聞きました。もう少し障がいを持った人達への理解と支援を一般の育成にも力を入れてください。広い社会で多くの交わりの中で生活し、当たり前を支えあえる世の中になってほしいと強く願います。幼い頃からの福祉教育の大切さ。大人たちへの理解の啓発活動にどうか力を注いでください。よろしく願います。障がいを持つ人達への職業に就くための訓練機関の充実も願います。「働くこと」が生きる喜びになる社会でありますように。学校を卒業して福祉作業所へ通うにしても、なるべく自力で通えるようにしたいと考えます。今かすがいシティバスが春日井市内を走っていて、障がい者は無料で利用することができるというシステムは本当にありがたいものです。ただ実際作業所や就職先などに通おうと思ったら、もう少し朝夕の時間帯に増発していただけると、とても助かるのですが・・・例えば、高蔵寺駅を一番早い時間で9時半の出発ですが、これでは作業所へ通うのに利用したくても遅すぎて利用できなかつたりします。せっかくのシステムなのにもったいないことです。有効に利用できるように再度時間の見直しをお願いしたいです。市民病院を利用する場合にも、9時台の予約となると高蔵寺駅発9時半では間に合わず、がっかりしたことがありました。始発を8時台でお願いしたいです。かすがいシティバスの運行時間帯の見直しを是非お願いいたします。また路線面でももっと広がっていけば障がい者にとって大きな足となり、行動範囲も広がります。どうぞ宜しくご検討いただきますようお願いいたします。
- 障がい児の療育の場が不足していると思います。療育の場において、手を洗うところが水で、冬場大変冷たいです。
- 今現在のことです。普通学級に通っている小学5年生です。補助の先生についていただいて、それはとてもありがたいことですが、先生自身、勉強不足だということを思います。ある程度の知識を持っていなければ、たとえ障がいがあっても個人個人違うとはいえ、何もかもわからないでは本当に困ります。校区の中学校には（小学校にもですが）特殊クラスがありませんし、地域で地域でといって自立支援法ができた割には環境が付いていけないように思います。基盤がなければ結局前と同じで家族が苦勞するばかりです。私の場合、まだ子どもが小学生ですが、今のこの年齢だからこそ成長できることがたくさんあるのに、それを伸ばしてやれる環境づくりを大人がするべきだと思います。このままでは子どもの将来が不安です。

- 学校の進学については、地域の学区が重視され居住区の学校へ進学せざるを得ない状況ですが、それぞれの学校の特性や特殊学級の扱いなどを見て、自由に選べるようにしてほしいです。
- 支援学級の先生が少ないと思います。人数に対しての教師人数なのでしょうが、生徒の人数だけに限らず、人数が少なくても手のかかる子がいれば、一時間その子に手を取られてしまうこともあり、また人数がいても手のかからないクラスもあると思います。基本的に複数担任でついてもらわないと十分な授業が受けられません。例えば息子は中3で、支援学級に移りました。授業についてゆけず飲み込みも悪いからです。しかし、新一年生が4人の計5人クラスに担任一人。受験を迎えて普通クラスよりは目をかけてもらっての授業を期待しており、4月当初は息子に合わせるとのことで喜んでいましたが、どうしても4人いる新1年生中心の授業になり、担任の先生が一生懸命と言うのは伝わってきますが、どうしても中3の息子の方が手薄になり、申し訳ないと言われました。何のために支援学級に移ったのかわからない1年でした。無理させてでも普通学級にいさせたほうがまともな授業を受けられたと、後悔の方が大きいです。(担任も板ばさみで辛い状況だと思います。)
- 保育園へ通園しています。クラスでも障がいのない子と一緒にいるため、入園当時はとても心配でしたが、先生方の考え方が障がいのある子をクラスみんなで受け入れ、思いやりの心を育てるというものでした。今、クラスを覗くととても自然に輪に溶け込んでいます。足が不自由なのでバランスを崩すことも多く、とっさに誰かに掴まることがありますが、驚くこともなく、掴まらせてもらっているようです。先生方もいろいろ気を配ってくださっています。保育園では少人数でお友達も受け入れてくれています。小学校では障がい児と接することがなく過ごしてきた子が、大半だと思います。先生方の方針も違うと聞いています。保育園と小学校の情報交換があまりないとも聞いているので、とても不安です。兄弟がいるので同じ学校ですと嫌なことになったりしないかと不安です。
- 学校の特別支援教育をせめて特別支援教育と言えるレベルには上げてほしいです。学校側(教育委員会も含む)のハンディキャップに対する対応を良くしてほしいです。どうすれば子どもにとって良いのかという考え方に変えてほしいです。現時点ではできないことや手のかかること、問題はすべてどうするの?と保護者を責める場合が多く、学校に来させてやっているという思いが見えます。特別支援教育の、まず精神面からの指導の充実を望みます。未来につながる若い人材の育成を望みます。市長と障がいを持つ子どもの保護者との懇談等、たくさん声や現実を見て聞いてください。

- 周りの市の知人の話などを聞き、春日井市は障がい児(者)へのサービスが充実しているんだな～とうれしく思っていました。が、しかしこの度夫の転勤で、家族で3年間だけ他県へ引越しが決まり、息子(ダウン症2歳)の保育園のことなどで県の児童課へ相談の電話をしてあまりの充実振りに地域格差がありすぎると痛切に思いました。その日のうちに障がい児センターの職員の方や同年代の同じ障がい児の母親を紹介してもらえたのにもビックリしましたが、保育園や幼稚園はこちらの都合(車の有無、家の場所、園風)で決めたらどこでも入れて、保育士のパートを一日4時間ほど、マンツーマンでつけてもらえると聞き、とても安心しました。他にも細かいケアもたくさんあり、ホッとしましたが、逆の立場(他県から春日井)の障がい児の親はとても大変苦勞するのでは・・・と思うと更なる春日井市の発展を祈ります。ちなみにこちらではいろんな園の話聞き、足を運び、園長先生と話しをしてみて、園選びをする、と言う、大変な苦勞があります。子どもが障がいのある子、一人なら良いですが、小さい下の子を連れ多動な時期のしかも知的に障がいのある子連れて園庭開放へ行くのだけでも大変な重労働でした。普通の子なら迷わず歩いて行ける近所の幼稚園へ通わせるのですが。進路のたびに普通の子なら・・・とってしまう状況はできるだけなくしてほしいです。
- 今年から1年生で養護学校に入学しましたが、遠くて送り迎えが負担です。何故帰りはスクールバスに乗せてもらえないのか、不思議でなりません。同じ養護学校で、知的は帰りもバスに乗せてもらえるのに、肢体はバスの制度がなく、毎日迎えに行かなければならないのです。体力がない子が多いといっても、元気な子もいて、納得できる理由も教えてもらえず、不満です。それなら児童デイサービスの学校お迎えをしてもらいたいのに、それもできないといわれました。それどころか、自宅送迎も12月からしてもらえなくなり、さらに親の負担が増える一方です。何故地元の学校に入れてもらえないのかも不満に感じます。障がい児と共に学ぶことが障がいの無い子にとっても必ず良い教育になるとわかっていないのでしょうか？いろいろな人達がいて当たり前な社会なのに、未だに障がい者を分けて、いいことがあるなら教えてもらいたいのです。違いを認め合える社会に早くしてもらいたいと切に感じています。春日井市にこれからも住んでいきたいと思えるようにしていただきたいです。
- 学校の先生と意見交換などをして卒業後のことをもっと充実させてほしいし、施設は定員いっぱいでは通所できません！自立支援法などでホームヘルパーの業務を辞めざる事業所が多く、利用したいのに利用できないのが現実です。養護学校のような施設があれば、もっともっと伸びる子どもがたくさんいるのに、そういう施設がまったくありません。
- 来年入学予定の方から聞いた話です。ダウン症児を受け入れることに消極的な姿勢の学区の小学校。「知的障がい」だからとのこと。違う市ならともかく、同じ春日井市の小学校の間に格差があること自体驚き、それと同時に激しい失意を覚えました。健常児と障がい児のなかなかバリアフリーが整わないことがとても悲しいです。

- 現在施設に入りたくても定員いっぱいではなかなか入れない状況にあると聞きました。我が家の子どもは幼稚園入園と同時に春日井市へ転入してきたので、入園前までは母子通園施設に通うことができ、基本的な生活習慣を身に付けることができました。親にとっても他の親御さんと交流することができ、よき心の支えとなっていました。是非施設に定員を設けなくて、希望する親子に、通園できる機会を与えていただきたいと思います。
- 障がいの程度が比較的軽く、養護学校も入れてもらえなさそうだし、かといって地元の中学もなかなか難しいです。
- 現在、保育園で先生について頂き、手厚い指導を受けることができ、子どもも楽しく通園しています（自閉症と診断されています）。やはり気になるのが今後の進路です。何処までサポートしてもらえるのか等、病院の先生、園の先生等、皆で協力しながら子どもの成長を少しでも促してあげたいという思いがあります。

(4) 福祉サービスについて

- 放課後や休日に友達と交流することが難しい子なので、児童デイサービスに通うことにより、少しでも子どもたちと触れ合えることを大切にしています。親ができないことをヘルパーさんやデイサービスの方が教えてくださることを嬉しく思っています。
- サービスを受けたくても手続きなどがいろいろバラバラなことが困ります。障がいのでできないことを他の機能を使って補えば良いという人もいるだろうけど、できない人もいます。無理にリハビリをしてできるように社会に出れるようにと思わないで無理をしないで良い施設が一番だと思います。
- 未就園児のデイサービスはかなり充実してきたと思いますが、小・中・高のデイサービスが少ないです。特に中・高に関しては全くないと言って良いと思います。私たちの子どもたちは中・高生になったからといって、一般の子どもたちのように友人と放課や休日に出掛けられるようになるとは考えにくく、家へ閉じこもりがちで不安です。更に子どもを預ける場所も少なく、どうしても子どもを置いて出掛けなければならない時にはどうしたらよいのでしょうか？中・高生になってもその不安はつきまとうと思います。障がい者の親は働くこともままならないです。子どもが自立して生活するためにも障がいがあっても預けられる場所があること。小中高生のデイサービスの充実を強く望んでいます。福祉施設の名称には読んだだけでは何をしている施設なのか解りづらいものが多いです。Bとか～センターとか、もっとわかりやすくなりませんか…。またはもっと広報などで社会にアピールするとか。

- 施設に通っている時、職員の親に対するイジメがありました。障がい児を持ち、すぐる気持ちで市役所から紹介された施設へ通う親に対してのイジメはひどすぎます。地味で大人しい親、日本人でない親、手のかかる子どもの親に対してイジメをします。泣かされた親もいます。子どものよだれが付いた物を汚そうに持ち「いやだ～」と言っている場面を見たことがあります。そして強そうな母親には何も言わず、不公平な態度をとります。私が通っていたのは3~4年前ですが、もし今でもその職員たちが当たり前のように働いているのならとても許せません。徹底的に調査していただき、罰していただいてもいいくらいの気持ちです。母親たちは当時子どもたちに何をされるかわからなくて、泣き寝入りしていたと思います。（実際に私はイジメにあったわけではありませんが、何人もの人からその話を聞いています）私たち障がいのある子どもをもった親の悩みは切実です。子どものために必死で働いているのに、デイが充実していません。ヘルパーさんが少なく、送迎ができなかったり、いっぱい利用できないなどです。子どもの身体は成長し、力も強くなり、ますます目が離せなくなるのに、自分たちは歳を取り、力がついていけなくなります。お金も必要なのに見てくれる人が居らず、働けません。判定区分が例え軽くても一人では絶対無理なのに。自分が死ぬ前にできたら死んでほしいです。一緒に連れて逝きたいです。そんな思いで毎日子どものことを考えている私たちの気持ちを少しでも理解していただきたいです。
- 児童デイサービスがなくなるという話を聞いて、利用者にとっても事業所にとっても困ることになると思います。ただでさえ、老人福祉に比べると知的障がいの事業所は少なく、利用したくても満員で使いたい時にサービスを受けられない不安があります。親もだんだん歳を取り、年々体力的にも精神的にも限界がやってきます。いつかは、子どもより先に・・・と思うと、入所施設もやはり必要かと思います。自分の生まれ育った場所で一生安心して暮していけたら本人も幸せなのでは、と最近つくづく感じます。
- 支援の業者が少なすぎます。それと同じくヘルパーさんの人数が少なすぎます。また利用できる時間も短く、一割の負担で精一杯でそれ以上は全額自己負担などとてもできません。支援等の条件も市からいろいろ厳しいらしく、本人が希望してもほとんど無理だと言われています。母親も仕事をしなければ生活がかかっています。障がいのある子がいるとそれだけでいろいろ手がかかります。安心して働けるようにして下さい。平日の8時~18時くらいは・・・。以前はそのせいで辞めることになりました。親が頼める業者を探すのではなく、選べるくらいにしてください。お願いします。
- 自立訓練のできる施設が少ないと思います。

- 児童デイサービスを利用したくても満員と言われ、利用できません。学童に申し込んでも3年生まで、という数字で断られ、働く時間も削られ負担も大きいです。校区に通える学校がなかったために、毎日送迎しています（車で）。親が寝込んでしまったり、入院でもしたら子どもは学校に通えません。車で送り迎えせざるを得ないため、ガソリン代もかなりかかるのに何の補助もありません。市は、数字でしか見ないため本当の現場の声が届いていません。障がいの程度もいろいろです。もっと現場に足を運んで保護者の声を聞いてください。障がいのある子どもは高学年になっても長時間の一人の留守番は難しいものがあります。知人に頼むこともできませんし、常に母親は一緒です。安心して働けるよう、障がい児のための学童を作ってください。中学卒業後に進める高等養護学校を増やしてください。
- 療育センター等、子どもの可能性を十分に伸ばせる環境整備、また障がい児同士、さらには一般の子どもたちとの交流の場の充実です。
- 軽度の子は行ける所がたくさんあり、選べるのに、重度の子は何にしても選ぶことができません。ショートステイの施設も医療的ケアのいる子はコロニーくらいしか預かってもらえるところがなく、コロニーでは入院している子たちの中に入るため、気兼ねしてしまう気持ちもわかってほしいです。
- デイサービスを利用していますが、一人当たりの単価が下がっていて、経営が苦しいと聞いています。利用する側は現在とても安く利用できますが、施設が（デイサービス）なくなっては困ります。私は母子家庭で帰りが遅くデイサービスが必要です。経営が安定するようにお願いします。（一人あたり単価を高くしてあげてください。）
- デイサービスのような集団生活で指導を受けたいのに、障がいが重くて身体も大きいと、調子の悪い時など、周囲に危険と言う理由などからサービスを受けられないというのは差別を感じます。また事業所により、サービス内容とサービス時間などに違いがありすぎて、その違いから発生する費用があり格差が生じています。
- 私の息子は現在児童デイサービスを利用し、とても楽しく過ごしているようです。当然今後も継続させたいと思いますが、その事業所が経済的理由で存続を危ぶまれています。市では利用者本人の負担は何ヶ月か前、軽減されたのですが、事業所への報酬がいまひとつのようです。その辺のバランスというものを今一度見直していただきたいと思います。
- 以前、児童デイサービスを利用していましたが、費用などがコロコロ変わるので困りました。私どもが利用している時は、所得によって決められており、最高金額を負担させられ、さすがに家計にも響いてしまい大変でした。退所した後すぐに安くなったと聞き、ショックでした。他にも所得により受け取れないことが多く、余裕があるわけでもないのに、疑問に思ってしまう。手当てがあればもっと療育教育など受けさせてやりたいと思うのですが、我慢しています。かといって、働こうにも保育園の延長保育、土曜保育も障がい児は受け入れてもらえず、学童（子どもの家など）も基本的に無理と言うことで本当にお金を得たい時はどうしたらよいのかと思ってしまう。

- 現在私の子ども、中学一年で自閉症とてんかんがあります。地域の中学校の特別支援学級に通っています。数年前に支援費制度が始まり、それまで学校が終わってから私と二人で過ごすことがほとんどでした。どうしてかというと近所に同年代の子どもは4~5人いますが、うちの子に障がいがあるため、健常のお子さんとは遊べないからです。ですから支援費制度により、児童デイサービスや外出支援が使えるようになって、大変喜んでおりました。ところが昨年障がいや自立支援法が始まってからは、利用者の負担は一割負担になり、デイサービスⅡ型の単価は下げられました。今年の4月から春日井市独自で利用者はゼロ割負担になって良かったのですが、デイサービスの単価は変わらず、昨年10月から事業所は赤字の状態です。利用者が事業所の経営のことをいうと事業所が言わせているように思うかもしれませんが、決してそうではありません。いくら利用者がゼロ割でも事業所が経営できなくなり、つぶれたら私たちの子どもたちは行くところなくなります。国の厚生労働省の考え方は児童デイサービスは未就学児までのもので、小1~18歳の学齢期の子どもは学校へ通っているから良いという考えだと聞きました。健常のおさんは自分から友達をつくり、放課後も自分で外出。そうしながら徐々に社会性を身に付けていけると思いますが、私たち障がいのある子はそれができない子が多いです。ですから放課後の児童デイサービスは、そこで友達ができたり、遊んだり、おやつ作りをしたり、お掃除、草取り、公園でみんなで行った時にただ遊ぶだけでなくゴミ拾いをしたりと、少しずつですが、社会性を身に付けたりしています。後は私たち障がいのある子どもを持つ親は誰しもが親亡き後のことがとても心配です。今利用しているデイサービスは親から離れる自立のための一歩と考えています。少しずつ親と過ごすだけでなく、親兄弟以外の他人と接する時間を増やしていくことにより、将来親と離れて暮せるということへの大事な練習の場とも考えています。ですから、この大事な場所（デイサービス）が利用しやすいような使い続けられるような確かな制度を作ってください。後これは国に言いたいことですが、障がい・老人に関するヘルパーさんやデイサービスなどの職についてくれる人達の賃金が安すぎます。福祉に対する高い志を持って働いてくれていた職員が、仕事の内容はきつく給料は安いと言う現状に負けて辞めていきます。
- 成長期にある学童の障がい児は、より社会への参加、人間同士の交流が必要であるため、是非デイサービスを充実させてほしいです。縮小傾向にあると聞いていますが、もってのほかだと思います。ましてや助成の社会参加、人口減少の原因にもつながってはいかないでしょうか。障がい児本人のためにも、この子どもたちを支える家族のためにも積極的に取り組んでほしいと思います。
- 療育手帳再交付の手続きの際に思ったことですが、再判定のための面接の予約が非常に取りづらいつ感じました。市役所で行なわれる日数が少なく、多動の気があるわが子を連れての名古屋市までの移動はかなりの重労働です。また家族全員が流行風邪に見舞われたときなど、障がい者当人は元気という場合が多く、電話一本で保護をお願いできるサービスがあればと、何度も切望しました。育児のサポートサービス等はボランティアの方がされていると読んだ覚えがあり、発達障がいのわが子を一般の方に見てもらうのは不安があります。自分たちがサービスがあることを知らないだけかもしれませんが、もしあるようでしたら是非利用したいと思います。

- 今、児童デイサービスを利用しています。一割負担のところを市が政策として負担してくださっているので金銭面でとても助かっています。利用料金が高くなると利用を減らすしかないので重度障がい児と長時間一緒に過ごすことは精神的にも負担になります。重度障がい児を連れての買い物、また他の兄弟の通院などはスロープの問題（車椅子ごと入って行けない）、障がい児が静かに長時間待てないことで、他の患者さんへの迷惑がかかることなど、物理的にも精神的にもとても大変です。今はデイサービスに預けて他の兄弟の通院に行けるので、とても助かっています。デイの事務所が学校へのお迎えをできるように許可していただけたら・・・と思います。親がお迎えに学校まで行くとなるととても数時間（2、3時間）では雇ってもらえません。親に収入がないとサービスを利用できなくなります。もちろん本人は将来も仕事なんてできる能力はないのに、一律一割負担では到底サービスが利用できなくなるだろうと心配です。車椅子などの購入を一割負担ではかなり額が大きくなります。障がい児用チャイルドシートも1台ではなく、学校のスクールバス用と自家用車用と許可してほしいです。（一度購入すれば5年くらいは使えると思うので）スクールバスの停車時間を短くしているのに（他車に迷惑なので）一つのチャイルドシートを毎回付け替えるなんてできません。24時間足に装具をつけています。1年に1回、買い替えができますが、外用と家の中用が同じ靴と言うのは納得が行きません（衛生上）。普通洗い替えにもう一足は健常者なら持っていますよね。一足では矯正のための装具なので洗って乾かすこともできません。砂の付いた靴を雑巾で拭き、布団の上でその靴を履くことになります。せめて一年に2足、外用と中用をきよかしてもらえれば・・・と願います。訓練の専門の先生を学校に常に勤務させてほしいです。専門の方から見ての学校内での訓練を希望します。訓練（自活）の時間が授業にあるのに、学校の先生たちは専門的なことは知りません。週に何時間も自活の時間があるのに専門的な指導が受けられないのは残念です。
- 現在は福祉サービスについて不満はありません。ただ今後社会に出るに従い、職に就く事ができるかという不安はありますので、もっと充実してくると嬉しいです。うちの子は人と係ることが大好きです。安全で事故に繋がらない範囲で、介護など知的障がいのある人でも関わる事ができないのかと思います。手を洗う、足を洗う、配膳のお手伝いをする、というくらいは参加できないのかと考えています。（例えば）
- 養護学校の通学バスが乗れない子どもは親が毎日送迎しているが、他の兄弟がいると兄弟が風邪や行事があるときなどは送迎ができず、学校を休まなければいけません。そのためヘルパーさんなどが送迎できるようにしてほしいです。児童デイサービスで看護師を配置して、医療ケアがある子どもも通所させたいです。養護学校を卒業後、医療ケアがある重度障がいの子が通所できるデイサービスを作ってほしいです。
- 一般家庭であれば何も問題なく受けられるサービスも、母子父子家庭であるとサービスを受けるために仕事等を犠牲にしなければならないので、それをフォローできるシステムサービスを考えてほしいです。親は子どもの将来を考え、仕事を変わらざるを得ない状況になり、収入も減り、子どもとのスキンシップの時間も減りました。

- 春日井市は公共の交通が不便なのに、何かとわざわざ出向かなくてはならないことが多く、車の運転のできない人は困っています。また障がいのある人や、子どもを連れて行くのも大変な場合も多いので、市側からもっと足を軽くしてほしいです。移動支援を現実的な支援にしてほしいです。1時間滞在で映画やスポーツ、成人式、冠婚葬祭は可能ですか？滞在中一人で過ごせる人が移動支援使いますか？
- 保護者の就労支援をもっと充実させてほしいです。仕事をしたいと思っても、特に夏休みなどの長期休暇は子どもを預けられるところがなく、預けられるところがあったとしても午前からは無理だったり、利用料負担がとて大きく、利用したくても利用できません。一般の学童保育所では障がい児は受け入れてもらえず、障がい児を対象にした学童保育所がありません。障がい児を持つ親でも一般の親と同じように仕事ができる支援をしてほしいです。障がい児を受け入れてくれる学童保育所を作ってほしいです。仕事ができることによって、豊かな生活につながっていくと思います。
- 病院等への付き添いをしてほしいです。(送迎を含む) 親が安心して働けるように、障がい児を預かってくれるところを増やしてほしいです。朝7時～夜6時ごろまで。土曜日も。施設利用料はなくしてほしいです。
- 現在受けている児童デイサービスが来年以降なくなると聞いています。下校後の有意義な時間、安心して子どもを預けられるような支援をお願いします。
- 現在は学校終了後、デイサービスを利用していますが中学生までなので高校に上がった時、行くところがあるのか不安です。高校卒業後、授産施設など自分にあったところへ通えるのか不安です。今は学校での教育ですが、他に発達の促進ができるような訓練の場がないです。(1対1で受けられるような)
- 現在児童デイサービスを利用させて頂いています。今年度はもっと優遇された料金で利用していますので、来年度からも継続していただければ、と思います。
- 児童デイサービスをつぶさないで下さい。学校から帰ると居場所が自宅しかなくなってしまいます。ただでさえ、人とのコミュニケーションが苦手なのにパソコン、テレビしか友達がなくなってしまう。どこも赤字経営でどんどん施設もつぶれている現状です。現場はとつてもがんばっているのに、なぜ？と苛立ってしまいます。県の財政難なのもよくわかっていますが、削るところが違うんじゃないでしょうか？移動支援も連れて行く場所もヘルパーさんと移動できる場所しか利用できないと、いきなり打ち切られて驚きました。家族が死んだら障がい者はどうなるんですか？一緒に連れて逝けるといいのに・・・と近頃本当に考えさせられています。

(5) 障がい者施策について

- 子どもは自閉 (C) 判定ですが、IQ が高くて日常生活に関しては大変な面が多く母子家庭なのですが、登校拒否等により私 (母親) は生活費を稼ぐため仕事をしなければいけません。留守番させることに大変危険が伴い、ろくに仕事できません。生活していくためのお金が不足し、生きていけるかどうか、大変不安な生活を送っています。自閉でも A・B 判定でないと支援金はもらえないので、今後支援金支給に関する条件を IQ の高いもの低いものという部分からのみの判断のみでなく、日常生活で、どのような状況なのか、生活態度とかも判定基準に入れてほしいと思います。暴れたり、大声を出したり夜中に騒いだりドアを蹴ったりとても困っています。それでも子どもだけで留守番させて仕事に行かなければいけない。どうしたら良いのでしょうか。
- 現在、小学生で児童デイサービスと移動支援を主に利用していますが、この先、中・高校と進んでいったら、これらのサービスは利用できるのか？不安です。またデイサービスの内容もどんどん利用者のニーズとは離れて行っている気がします。移動支援の制限も利用者のニーズとはかけ離れています。もっと利用者が利用しやすい制度にしてほしいです。
- 発達障がい児に対して、身体・ダウンなどの障がい児と同じ対応をしていたのでは支援にならないと思います。早期診断の付いた発達障がい児に対して専門的には療育指導してくれる人材と場所の提供をお願いしたいです。自閉児は早ければ早いほど効果的なのだそうですから。
- いつもお世話になっております。自立支援になり年金がない方も使用料等は払わなければいけません。かなり減額にはなってきましたが、C 判定というか軽い方は大変です。企業へは就職できず障がい重い軽いは関係なしです。同じラインに立っていると思います。昔に比べればいろいろなサービスも使用でき、重度の方の家族も昔よりはかなり助かると思います。年金、市の手当て等一律でもいいと思います。少しは上限の方も必要かと思いますが・・・できればこれは市ではありませんが、高速代 (半額) 車の税金等は全員 (補助) することはできないでしょうか？行動も広くなると思います。ショートステイは親がレクリエーション等 (常用者) は全額負担も必要。東部地区の方は、サービス使わにゃ損損という感じで、ありがたいという気持ちゼロです。当たり前と言う方が多いように思います。めちゃくちゃ皆が使うということも赤字になると思います。各々が本当に必要と思うことは今後も援助していただきたく思います。作業所等、職員の手当てがすくないのです。本当にやりたいといわれる若い方も生活が成り立たず、就職も他に流れます。(給料等) 今後これも大きな問題かと感じます。宜しく願いいたします。

- 制度がコロコロと変わり、将来の福祉がどうなっていくのか不安です。市として障がいを持つ人が安心して暮せるような施策を作ってほしいです。障がい児にとって、学齢期は将来社会生活を営むようになるための大切な時期です。障がいのある子どもたち個々に合った発達支援が必要です。家庭と学校だけの生活では社会生活を営むには不十分です。いろいろな体験をしたり、いろいろな人と係ることが必要であり、何事も何十回何百回と繰り返さないと身についてきません。これらのことができる場が絶対に必要です。それから親亡き後も安心して暮すことができるように福祉サービス等をきちんと整えてください。
- 他市に比べると、移動支援、日中一時支援の内容について規制が多く、納得できない点があります。障がい児の親は健常児の親より負担や不安もたくさんあります。そんな親の気持ちを汲み取っていただき、せめて自立支援法が施行される前の状態に戻してほしいとも思います。障がい児を応援して下さる方が、福祉学校等で学んだことをゆとりを持ってその技術を生かせる職場の確保も望みます。国が決めたことを自治体の采配で融通が利くのなら、「春日井市に居てよかった」と全国に胸のはれる場所にしてください。
- 車いすや装具などの自己負担をなくしてほしいです。
- 国の障がい手当についてですが、所得制限でもらえないのは納得がいきません。障がいのある子どもに対して、将来のため少しでも貯金をしていこうと思っていますが、今収入があっても、将来的に親に収入があるかは何の保障もありません。今のうちから貯金をしたいのですが…。たまたま子どもを生むのが遅かったため、収入がそれなりにありますが、逆に定年を迎えてもまだ教育費がかかるなど、将来的に不安がいっぱいです。ぜひ所得制限をなくしてほしいです。
- 名古屋市や他市町村と比べ、学校(小、中学校)の障がい者に対する対応が遅れていると思います。

(6) 移動について

- これは福祉サービスには関係のところかもしれませんが、一番近くに迫って困っていることは、養護学校に通うための交通手段が少ないことです。バスの回数が少ないので、朝それに乗り遅れると学校まで送っていかなくてははいけません。学校のスクールバスには皆が乗せてもらえないようなので、「コロニー行き」のバスの回路与回数を増やしてほしいです。また帰りもバスがないために部活をやってくるのができません。「高蔵寺行き」はあるようですが、それ以外はないので、困っています。スクールバスに乗れば一番安心ですが、公共の交通を利用すると言うのも将来のための訓練になると思っています。現在だとバス停まで歩き(15分くらい)バスで春日井駅、電車で高蔵寺、またバスでコロニーへという経路になります。これでは一人で通学させることができません。ちょっと無理です。知的的にも体力的にも…。よろしくお願いします。
- バス利用時、運転手が乗せてくれません。(手伝ってくれない)車椅子なのに、親一人ではできません。

(7) 医療について

- 病院に連れて行ってもきちんと見てくれない先生もいます。言葉が話せないのでもっとも発見が遅れますのでせめてきちんと見てほしいです。
- 子どもは発達障がいです。1歳半、3歳健診の時、指摘を受けませんでした。もっときちんと見てほしいと思いました。そして健診の時、不機嫌そうに事務的に診察をする医師に何度も怒鳴ってやろうかと思ったこともあります。もっと母子に配慮のできる医師をお願いします。けなす医師は本当に不愉快です。地域との関係が少ない中、自信をなくして考え込む母親が多い中で相談できる医師は、それでは本当に母親を追い込むことになり、虐待、自殺に繋がることだと思います。健診の医師が腹の立つ者が多いことは友人からもよく聞きます。検診のときにアンケートなど、医師に対してや健診のアンケートを最後に取り入れてはどうでしょうか。
- 自閉症の子どもの医療費はタダと聞きました。知的障がいを持つ子どもは医療費は実費です。医療機関での診察を受けることも多々あります。補助していただけたらと思います。また偶然のことかもしれませんが、永久歯が8本欠損しているとの診断を受けました。将来的に乳歯が抜けた後、何らかの処置をしなければなりません。医療費が心配です。
- 発達障がいと診断される子は年々増えているのに、病院やリハビリ、訓練などをする施設は限られていて、思うように訓練などが受けられません。(我が子は言語訓練を受けたいと希望していますが…) そういう施設、サービスをもっと充実してほしいです。
- 現在、心身障がい者コロニーに定期的にリハビリを行なってもらっていますが、月に一度という少ないペースです。本来ならば最低でも週1回くらいはやらなければいけないと思いますが、人員不足のため、どうしても月一度のペースになってしまうようです。いろいろな事を一番吸収する時期です。もっとリハビリできるようになればと思います。他に通える施設もなく…。とても残念です。他の市では、毎日リハビリを行なっているところもあるそうです。複雑な思いです。
- 障がい児のリハビリの場を増やしてほしいです。健常の子より障がいのある子どもの方がどうしても弱いです。親には看護休暇のように小学校以上でも休暇を与えてほしいです。

(8) 環境整備について

- 市営・県営住宅がバリアフリー化されていないので、早急にすべきです！！

(9) 将来への不安について

- 母一人、子一人でその子どもが知的障がい、自閉症なので、彼の就労先や災害の時など不安だらけで心配です。

- 現在養護学校、中学生の知的障がいと自閉症の息子を持つ母親です。息子は最重度で、言葉もなく知的レベルは2歳あるかないかなので、息子がもしこのアンケートに回答できたらどう思うかを親として想像しながら回答しました。目の前にある問題としては、児童デイサービスⅡ型の単価引き下げのため、事業所の経営が苦しくなっているとこのことで、保護者として協力金を出さなければならず、生活を圧迫されています。でも、うちの子や親にとって学校の放課後の居場所や活動は生きていく力をつけていく上で、不可欠なものです。とても大切なのです。一番心配なのは卒業後の就労先があるのか、毎日通所できるか（定員がいっぱいのため、週に2〜3日しかいけないところもある、と聞いたので）グループホーム、福祉ホームはもっと整備されていくのか。親の負担は何がいつまでどれだけあるのかわかりません。親の死後、息子はどうなるのかの見通しが立たないなど、不安でいっぱいです。大事な子どもが人として当たり前のように親や家族が安心して生きていけるよう、どうぞ政治の力を与えてください。よろしくお願いします。
- 子どもが大人になった時、ちゃんと働けるか、自分の力で生きていけるかが一番心配です。相談できる施設や、サービスも良くわかりません。子どもが大きくなるにつれて自分（親）は歳を取り、働けなくなってきた時、生きていけるのかと今から心配しています。考えれば考える程この先不安です。
- 就労時に子どもの将来がどう影響するか、決断に迷いがあります。子どもの将来にとっても不安です。どういうサービスがあるのか、調べなければいけないがなかなか時間がとれません。
- 親がみれる間はいいのだけれど、年老いた時、または亡くなった時に、安心して預けられるような場所をたくさん作ってほしいです。（安心して死ねるように）

(10) 障がいへの理解について

- 娘（小4 自閉症）を連れて出掛けると必ず他の人からジロジロ見られたりします。行動も急に笑い出したり、ウロウロしたりと変に思われるのは仕方ないと思っていますが、公園では、娘が近づくとサッと別のところへ行って「あの子、変」と笑われたり、病院の待合室で他の親ににらまれたりするととても悲しくなります。スーパーでは「あんな子、連れてきたらいかん」と聞こえるくらいの声で話しているのでショックで泣けてきました。これから長い人生、娘は社会でうまく生きていけるのだろうか。もっと障がい児・者に対する、正しい理解、優しさのある社会にならないだろうか、と日々感じています。
- 児童デイサービス所の運営が安心してできるような対価の保証やハンディのある人達への人的配置を現実につき添って考えてほしいです。障がいがある人もない人と同様に、安心して余暇活動ができたり、身の回りの身だしなみもできて当たり前なことだと思ってほしいです。自分には関係がないことと思っただけではなく、いつ何時、誰にも障がいを持つ可能性があることを念頭に置いた上で、障がいがある人も普通の人間であると自覚して、福祉について考えてほしいです。福祉課内での対応のギャップをなくしてほしいです。福祉サービスが受けることができる人には、もっと知らせてあげてほしいです。

- 親として所詮役所よ、当てにならないと思っています。自分たちで事業所を立ち上げる親御さんもいるが、現実そこまでいくことはかなり困難です。福祉にかかわっている役所の人達はもっと現場へ行き、1~2週間体験してきてほしいです。そうすれば現在の状況がよく理解してもらえるとと思います。
- 障がい者・児への理解をもっと深めてほしいです。そのための活動を増やしてほしいです。

(11) 行政への要望

- 春日井市内もしくは近くの市でも良いので、福祉施設（入所タイプ）をどんどん作ってほしいです。グループホームなどはやはり危険が多いので、特にグループホームと言うなら、各個人の負担金を半分、国や市などで負担してほしいです。施設でもグループホームでもヘルパーさんの増員を望みます。市営住宅も障がい者専用のもも造ってほしいです。現在、既存の市営住宅でももっとハンディのある方（障がい者）を最優先で枠を増やしてほしいです。あと利用にあたって、やはり福祉サービスをしている施設が少ないので、もっと国や市が負担して、たくさん造ってほしいです。
- 容易に外出できないのに、手続き等紙一枚のことで何度も役所へ出向かなければならないことに対して、対策をお願いしたいです。対応する福祉課などの担当者の方には、障がい者の方の現状や生活の状況、日常生活について理解を深める機会を求めます。決められたことをそのまま全ての人に杓子定規に対応するのではなく、様々な状況の人々の立場に理解を示し、今の制度では足りないとの声があれば、「無理です」の一言で終わらせず、改革へ繋げて言ってもらえるような意欲を見られると、相談する気になれます。今の感じでは何を言ってもしょうがないな・・・とあきらめてしまいます。
- 障がい者が社会の一員と認められるような、コミュニティの育成に努力していただければと思います。
- 保健師さんのレベル、理学療法士さんのレベルに差を感じます。児童同士、親同士の触れ合う機会を可能ならば乳児の時期からほしいです。
- 本人は気管切開しているので痰吸引が必要ですが、医療行為に当たるため、学校やデイサービスではしてもらえず、全て親が付き添っていなければなりません（東京でニュースにもなった女の子は入学の際、看護師が付いたと聞いていますが）。春日井市では福祉課に相談しても、話にならず支援制度 etc. 申請登録しても実際にはデイサービスも利用することができません。安心して通学や福祉サービスが利用できるようにしてほしいと思います。オンリーワンだから・・・ではなく、オンリーワンだからこそ目を向けてほしいと思います。

- 先天性の重度脳障がい児であり、医学的にも治療回復、成長の見込みが全くないにもかかわらず、ただ年齢が低いとの理由のみで療育手帳と身障手帳の取得に時間がかかったことが残念でした。障がい者の障がいの程度は様々なので、各個人にあった制度の活用を期待します。手帳の更新などで面接が必要な場合に、中央児童・障がい者相談センターへ出向かなければならないのは、非常に不便です。（私の子どもの場合、移動手段は車のみですが、平日では妻しか対応できず、妻の運転では名古屋都心を走行するのは危険）自宅等への出張や、市役所での面接時間の確保、休日や夜間での対応をお願いしたいです。
- 詳しい言葉や専門的なことを何も知らない素人ですが母子家庭に対して補助しすぎだと思えてなりません。どちらかが亡くなったりしたとかは別として、自分たちの勝手な都合で離婚した人達を社会弱者として救済するという目的なのかもしれませんが、校区内におられる母子家庭の人達はとても裕福です。「これ以上働いたら補助金が少なくなる」とか「病院に行かなくては損、だってタダだもん」と平気な顔をしてみえます。普通にまじめに働いて、子育てをして税金をたくさん払っているのがばからしいです。その税金をあの人達のために使われているのかと思うと腹が立ちます。その税金で学校の先生を増やし、35人学級を実現させたり、小学校にも中学校にも健常児と障がい児(中度・重度)の間の軽度と思われる子どもがたくさんいます。高機能や軽度の発達障がいといわれる子たちです。今、一番見落とされていて、早く救済するゾーンの人達です。重度の人や老人に対する福祉はとても充実しているように思えますが、小学校中学校時代にしっかりサポートして、自立させていくということに少しお金を使っただけなら、と思います。そうしていくとニートの数も少し減っていくと思います。
- 他市町村に比べ、わが市は使用の制限が多くその制限の理解が難しいことがあります。確かに、全て聞くのは難しいかもしれませんが、ほんの少しでいいので助けてほしいと思うことがあります。それから地域での居場所がなく、結局遠いところへ行かなくてはいけなくなるからです。もう少し地域福祉や学校など、障がいを持っていても当たり前で暮らせる、ことができるように施設も体制もサービスも整備されてれば、と思います。（通勤、通学の移動支援は除外など）お願いばかりで申し訳ありませんが、宜しくお願いします。

(12) その他

- かすがいシティバスを春日井市の隅々まで走らせてほしいです。障がい者が移動をするための手段として是非充実させていただきたいです。うちの子どものように軽い知的障がいの場合、障がいがあっても勉強ができないのか、本人の努力が足りなくてできないのか、親としては不安です。でも学校の先生に相談しても、小学生のうちは「日常生活には何も問題ありませんので、勉強の方はあまり気にしなくても」と言われるばかりです。小学校低学年のうちに知能検査をするなりして、わかっていればと思うことが多々あります。昔は学校で知能検査をやったと思いますが、今はやらないのでしょうか？誰に相談していいのかわからず、悩んでいた時期が長かったし、やはり子どものためには早く気づいてあげられたほうが良いと思いますので、学校での知能検査をやってほしいなと思います。
- 言いたいことは山ほどあるが、それを言葉に出すのが惨めに思えてきます。子どもを守るというより、自分を守る方がとても大変です。子どもも大切だが自分がまっすぐ立っている方がもっと大切です。だから介護する人の方の心身も大切にしてほしいです。
- 息子は2歳半になっても言葉が出ず、病院を受診しました。それまでも言葉が遅いこと、同じ場所に居ることができないなど、息子に対して不安は持っていましたが、2歳健診のときに何も指摘されなかったのと、近所の人達に話しても「言葉の遅い子はいるから大丈夫」などと言ってもらい、何よりも自分の子どもに障がいがあるとは考えたこともなかったので、気づいてあげるのが遅くなってしまって、息子に申し訳なく思っています。障がいがあるという診断が出てから児童デイサービスの施設の空きがなく、民間のNPOが行っている施設にしばらくの間、通っていました。でも、NPOと児童デイサービスとは違いがあり、児童デイサービスの施設の数を増やしてほしいです。ずっと一緒に居た私が気づいてあげられなかったのが一番いけないことなのですが、それまで受けていた健診で何も指摘がなかったことを疑問の思う点もあります。息子が児童デイサービスに通えたのが2歳11ヶ月でした。もっと早く障がいに気づいてあげればそれに対する接し方もできたし、児童デイサービスにも早いうちに連れて彼の感じ取る、学び取るものが多かったのではないかと考えています。
- 老人ホーム、障がい者には高額な費用は要らないと思います。矛盾している日本。
- 10年ほど前、友人とフロリダのディズニーランドへ行った時の話です。3列で並んでいたのですが、おしゃべりに夢中でアナウンスを聞き逃し、気づけば真ん中の列が空けてあるのです。入り口を見ると車椅子に乗った少年とその家族のために道を空けていたのです。日本では考えられぬ光景です。なんととても楽しそうに入ってきた家族。周囲の人の様子もそれはごく当たり前の様子で、とてもカルチャーショックを覚えました。今、ダウン症の娘を持ち、日本の福祉に対する認識があまりないことが10年経ってもなかなか良くなってないと感じています。健常者と障がい児が地域社会で住みやすい市になってほしいと願っています。宜しくお願いします。

- いつも思っていることですが、いろいろな情報やサービスが必要としている人へ届いてないように思います。個人情報に関係もあると思いますが、障がい児を抱える親としては、少しでも早くこの子たちが将来自立するために何ができるか考えています。この町でこの子たちが笑って前を向いて生きていける居場所を見つけるために、今私たちがいるのですから。この町の福祉が障がいを持っている人に優しくなったら、全ての人が住みやすい町になると思っています。

5 障がいのない人

(1) 相談について

- 今後障がい者を持った場合、自分が何をどのようにすればよいかわからない。相談窓口で個人個人に合ったベストな対処法、今後の生活法などアドバイザーがいると助かります。
- 相談窓口での情報提供の極め細やかさとアドバイスが本人任せとなる公共体制の対応。

(2) 情報提供について

- 父が89歳になります。いちいち不安があります。福祉についての職員からの訪問を期待します。もし介護になったら…相談を受けたいです。
- 正直、「福祉」という事柄に興味や関心が低いと自覚しています。身近にそういった人がいないことも原因であると思いますが、それでも自分自身+家族への危機感も足りていないと感じています。ただ漠然とした不安は感じていますので、「～という障がいに対して、～ということを実施しています」または「～はいつから実施します」等のアナウンスをしてほしいとは思いました。
- 我が家だけに関しては、この一年に介護問題や障がい者問題が身近になったため、デイサービス等やそのための活動内容を他から聞きながらやっていますが、初めは何も知らずお金や無駄に動いたため頭を悩ませて家族間で喧嘩もありました。知らないというか、教えてもらうにはどうしたらよいのかをもっとわかりやすく早く知りたかったし、困った時の相談する相手がわからないのは今も同じ思いです。
- 現時点でどのような取り組みをしているのか、当人や身近に障がい者がいないとわからない（知らない）ことが多いので、わかりやすい説明を誰でも受けられるようにしてほしいです。
- 市報の広報活動が行なわれていますが、もっと広報の必要を感じています。障がいのある人からの要望は遠慮がちですので、障がい者宅への調査等について市の係りを設け、積極的に活動を実施していただきたいです。

(3) 就労について

- 私の勤める会社にも知的も含め、3人の障がいを持つ人が働いていますが、それぞれの個性にありました。その人に向けた仕事を与えれば常人より粘り強く、手を抜かず一生懸命に楽しそうに仕事をします。手のつけられないパニックで迎えに来てもらうことはほとんどありません。（皆無ではない）市や役所こそ彼らの職場として門を広げる時ではないでしょうか。
- 詳しいことはわかりませんが、障がい者の方の働く場所が多くなれば良いと思います。

- 学校、保育園、幼稚園などに障がいがある子、または判定が難しい子に対して教師保育士だけでなく保健師、臨床心理士などさまざまな専門職の連携がもう少し強化されると良いと思います。
- 保育園にも障がい児が多くいるが、とても大変で、親の対応もとても大変です。また子どもにもひと時も目が離せなく、保育士も精神的にも肉体的にも重労働です。子ども一人に対して絶対一人の保育士にする必要があると思います。市民の声を聞くことも大切ですが、働く立場の声も聞く必要があると思います。
- ある小学校にはEFG組という障がい者クラスがありました。中学生になったときEFG組は、その小学校にしかないことを知りました。他の小学校を卒業した友人は障がい者のことを自分とは違う、ありえない世界だというようなことを口にしていました。私は少し複雑な気持ちでした。どの小学校にもEFG組を作るべきだと思います。または障がい者と接する機会や理解しようと思える行事を増やしたらよいのではないかと思います。

(4) 福祉サービスについて

- 駅などのバリアフリーやエレベーターができ、少しずつ充実してきつつありますが、もう少し障がい者が自由に外に出られるよう福祉サービスの充実を希望します。
- 高齢者が多くなり、それにより障がい者になるケースがあると思います。福祉サービス支援が必要です。
- 福祉について今まで真剣に考えたことがなかったのですが、できるだけ自分でがんばりますが、問14の15を願っています。
- 現在、自分を含めた家族、親戚内に福祉サービスを利用しているものがいません。ですので正直春日井市の福祉サービスの内容、質等に知識がありませんが、いざ必要とする身になった時、問14にリストされている項目のすべてが充実していることを望みます。どの点においても「さすが春日井市！」と思える障がい者に対して優しい市に！という希望をこめて問14に全て○をつけさせていただきました。

(5) 障がい者施策について

- 家族や自分自身が障がい者になったり、介助が必要となったりした際、具体的にどんな支援や援助を受けられるのか、まったくわからないのですが……。そしてその支援や援助は、障がいの程度によって異なるのでしょうか。
- 福祉促進活動はどのように推進されているのかわかりません。

- 問い14-19について・・・知的障がい者が現在通所更正施設を利用している人達の多くの保護者は、高齢化等によって病気等で入院でもしたらこの障がい者を速やかに保護してくれる入所更正施設や短期入所更正施設を整備してほしいという要望が非常に強いです。どこの入所施設でも非常に多くの入所待機者を抱えており、まだまだ入所施設の必要性は当分の間（第二の団塊世代の高齢化が進むまで）解消しないと思います。自立支援法の施行により、入所から在宅自立支援の促進に軌道修正されたが、重度障がい者等で保護者等の事情により急に在宅生活の維持継続が困難になったケース等、あるいは事故等特別の事由により緊急に入所施設へ入所できる施設（ショートステイもあるが、満床になっている）整備の必要性は依然として高いです。幸い春日井市は市内にコロニーがあるから良いかもしれませんが。これからは病院に隣接し、老人福祉施設と障がい者福祉施設を併設して、医療と福祉施設の連携を密にし、一貫的に対応できるよう適切、効率的に運用してほしいです。障がい者の場合、保護者が病院へ入院しても、また特老に入所しても常に障がい者との交流ができ、両者の状況が把握できるから安心が持てます。市民病院の敷地内か隣接地に併設できれば理想的だと思います。
- 自立支援が早くなるように望みます。
- 障がい者への援助も大切ですが、私が見ていて感じたのは、その方を世話する方への配慮です。18歳過ぎてからはどこにも居場所がなくなって（家庭以外）、親が働きに出なくてはいけない経済状況の方を見ていて本当に国の援助の必要性を痛感しました。個人的な援助はある意味で自尊心を持つのに難しく、公の機関での援助は自尊心を高めもっとも望ましい状態だと思います。

（6）医療について

- 実のところ、春日井市にどのような保健福祉があるのかあまり知りません。とにかく広報等は良く見ますが、今の所身近に障がい者がいませんので、関心度は低いのですが、ぜひ充実した福祉保健を作してほしいです。一番心配なことは、老後の医療施設（病院）のベッド数の増数、病院の転移等のこと。今いわれている産婦人科等の廃止問題。春日井市の現状はどうなっているのでしょうか。
- 将来寝たきりになった場合に医師の派遣等を行なうような行政にならないか、と思います。高齢者夫婦の場合、特に老老介護を心配します。

（7）環境整備について

- ニュータウン地域は高齢化が進んでいるが、施設などがあまりなく利用したいと思っても、遠かったり入りたい場所には人が多すぎて思うように利用できません。障がい者の人も利用するには時間がかかり過ぎ、利用できる状態ではないです。交通機関も交通費が高い（特にバス）とのことです。
- 交差点でのマナーが悪く、非常に危なく感じます。関係者の方が交通整備という感じで立っていただけると安全と思われれます。

- 公共施設のバリアフリー化も少しずつ進んでいると思いますが、まだまだ考慮する点が多くあるように感じます。私共の近所の商店街は歩道がレンガになっており、車も通行するため、レンガが割れたり外れたり穴が開いていたりで、私自身も自転車で倒れそうになったことがあります。とても車椅子や高齢な方が速やかに歩けるとは思いません。見た目の良さではなく、平らなカラー舗装のほうがずっと障がいのある人に優しいのでは？
- バリアフリー施設の充実。
- 春日井市民であることが誇りに思えるような街づくりをお願いします。私は車椅子は使ったことはありません。でもベビーカーで散歩しているとこんなにも段差があって通行しにくいのなら、車椅子の人はもっと大変だろうと思います。

(8) 災害（緊急時の対応）について

- 避難施設について車いすの数が少ないです。万一に備えてたくさん用意すべきではないですか。災害時障がい者に対する施設の整備の促進強化、目に見えない障がい者（聴覚、視覚等）に対するバリアフリー化がまだまだ遅れているのではないですか。（点字ブロック、色弱者に対する看板等の整備）

(9) 将来への不安について

- 高齢や障がい働けなかったら何か役立つものがなくなってしまうのではないかと不安です。収入もなくなり、支払うものばかりかさんだらどうでしょう。
- 不安・・・1. 車が運転できなくなった時の買い物のための交通手段。2. 名鉄バス等私鉄の公共交通機関の運賃の高さ。3. 要介護の状態になったときに公共の施設になかなか入所できないのではないかと、あるいは入所できても長期間は無理ではないかと。（本市の福祉サービスの内容があまりわかりませんので特に意見はありません。）
- 一人暮らしになったときの不安、また病気の場合も不安です。
- まだ私は50歳なので身体の不自由等は何もありませんが、将来からだ動かなくなった時、子どもにもあまり負担をかけたくないのでなるべく自分たちのお金などで施設に入り、生活したいと思うのですが、入るだけのお金が足りているのかどうか、とても不安です。ますます高齢者が多くなるので、施設の数も足らなくなると思います。そんな不安をなくし安心して老後を生活できるようにしていただけたらいいなと思います。是非お願いいたします。

(10) 障がいへの理解について

- 肉親に障がいを持つ者はいないので、行政に対してこういうことを、という具体的な要望はわかりません。ただ障がいを持った人々と接する時に、どうすればいいのか、どう接すれば喜ばれるかがわからないので、そういう意見を聞けるといいなと思います。中学や高校などで障がいのある人やその御家族などに講演していただくと子どもたちが障がいについて身近に感じ、考えるきっかけになるのでは？と思います。

- 身近に障がいを感じたことがないため、何をどうすべきかという具体的にはわかりません。障がい者が何を求め、また周りの人がどうしてほしいかわからないのが現状です。
- 私自身、子どもの頃に精神障がいのある子からひどい目にあわされました。誰もいないところで突然蹴ってきたり、人気のない所に連れて行かれいたずらされたり。先生に話しても、しょうがない子だから・・・と。正直言えば、未だに怖い存在だと思っています。しかし身体的な障がい者ならば、自立できるように理解支援はしてあげたいと思います。

(11) 共生社会について

- 福祉サービスの充実は大変結構なことであり、大いに実施してほしいです。ただし一部に見受けられることでもありますが、自分は障がい者であることを前面に出し、健常者に対しあるいは行政に対し、あたかも当然であるかの各種要求をつきつけることがあります。あまりにも障がい者支援をうたい、サービス、支援過剰サービスも考え物です。障がい者以外にも恵まれない人は多数います。障がい者だけに対する支援サービス過剰はほどほどにすべきです。障がい者の「甘え」も改める施策も一方で必要と考えます。
- 高齢化社会になれば、数多くの問題も出てくると思います。自己の健康管理と障がい者の方たちへの温かい思いやりの気持ち、助け合う心で接していきたいです。
- 自分の子どもが障がい者に対して特別な目で見ないようにするためにも、障がいを持った方々との触れ合う機会を作っていただけると親として子どもに説明がしやすいです。
- 制度や法を改善することももちろん大切ですが、市民の意識を変えていくことのほうが大切なのではないかと思います。バリアフリーが進み、年々障がい者の家族にとっては暮しやすくなってきていますが、まだ差別や偏見を感じる部分があります。本当の意味でのバリアフリー（心）が根付くと良いですね。
- 共生社会の実現に向けては障がい者、健常者、各々の意識の壁がかなり高いと思います。子ども時代からの積極的な交流や教育がとても大切だと思います。障がいを途中から負った人、その家族、または先天性の障がい者への家族のカウンセリングなど精神的負担を強いられているであろう立場の人達への支援なども障がいがある人達の環境を整える意味においても、重要であると思います。
- 障がいは幅が広いので、まず、その特性に着いての理解を深める必要があります。特に障がいのある子の虐待など、絶対にあってはならないです。そのための学習（周りの人の）施設が必要では・・・。また障がいに気づくプロが各学校に必要であると感じます。幼い頃の方向付けでよい対応が受けられれば、社会に順応していけるので。（この場合の障がいは身体的障がいではありません。）

- 自分が知らないだけかもしれませんが、春日井市で行なわれている福祉についての具体的な取り組みや計画、及び催しなどを全く見たことがありません。今回のアンケートを通して春日井市の福祉に対する姿勢や考えが少しではありますが、知ることができたことは非常によかったと思います。自分の周りには障がいを持った人がいないために実感がありませんが、障がいを持った方とその家族が普段どんなことでご苦労されていて、普通に生活するためにはどんなことが必要になってくるのかを我々も知らなくてはいけないのかと思います。このアンケートが参考になるかはわかりませんが、今後の春日井市の取り組みに大変期待しております。
- 欧米の良い部分をもっと取り入れ、障がい個性として受け入れられる社会になってほしいです。大人になってしまつとなかなか難しいと思いますので、子どもたちからそういう気持ちを持てるよう教育していったらいいんじゃないかなと思います。そしたら何年後かには少しずつそういう社会に近づけると思います。そしてそういう障がいのある人が身近に感じられるよう「いることが当たり前」に思えるようになったらいいなと思います。

(12) アンケートについて

- このアンケートは身体障がい者と年寄り（要介護者）と同じレベルの質問でしょうか。意図するところがわからない面があります。
- このような匿名のアンケートは何の参考にもなりませんし、参考にすべきではないと思います。本当に意見を集めたいのであれば、個人に責任を持たせるべきではないでしょうか？お金と時間の無駄になりますのでやめてください。形式ではなく、目的を考え信念を持って、市政を運営して下さい。

(13) 行政への要望

- 施設の整備も大切ですが、もっと大切な人とのかかわりを心の通い合える楽しさを味わえるような、相談、一緒にいてくれるような安定した気持ちを保てるような環境づくりを求めたいと思います。
- 今のところお世話になっておりませんのでわかりません。もし頼るようなことになった場合、いつでも受け入れてもらえるとうれしいなあと思います。
- 高齢になって安心して入れる施設が多くほしいです。高齢になって、弁当などの宅配が気楽に取れるといいです。
- 春日井市は町内会の役員などに福祉の役割分担を押し付けすぎていると思います。強要ではなくもっと個々の市民の自発的ボランティア的活動の促進を考えてほしいです。町内会が行政の下請け的存在になって役員のみ手がなく困っているところが多いと思います。税金が行政のサービスに結びつかず、町内会に頼りすぎているようでは将来が不安です。
- みんな全ての人々が幸福に生活できるよう、弱い立場の人と同じように福祉のサービスを受けられるといいですね。元気な人、元気なうちにボランティアできる人が増えるといいですね。

- 役所の無駄（雇用も含めて）をまず見直すこと、すべてはそこからだと思います。無駄話をしているような職員はいりません。無駄な支出は削る。役所の無駄を削れば、障がい者の方を役所でも採用できると思います。市民として、そのような進め方でなければ納得できません。賃金も中小企業のを視野に入れ、下げるべきだと思います。公僕であることを忘れずにしてください。
- 高齢で生活が困難になったとき、福祉施設にすぐに入所できるように。それ以前に思うことは、家が古くなってきて、補強とかリフォームとかしなければ、住めなくなってしまうますが、高齢者のみの場合は銀行も貸し出してくれません。福祉で支援して下さったらまだまだ二人で生活できるのに、市で費用を貸し出してくださるとか、何かいい方法がないものかと思います。
- 私共は子どもがいないので、老後の不安が非常に多く孤独にならないよう福祉ホームなど入所できる施設の充実を切に願います。
- 質問とはちょっと離れますが、障がい手帳の交付についてですが、本当に要る方、例えば脳障がい（脳梗塞等）で手足が不自由な方などには当てはまりません。手帳を持っているだけで、裕福な方、お金に困っている方に関わらず、優遇される。本当に困っている人達に何とかして下さるようお願いします。もちろん私は健康であることに感謝です。これからもっともっと福祉の充実をお願いいたします。
- 障がい者の方の支援は重要ですが、障がい者手帳を持っていないが病気等で就業が不可能な方もかなりみえると思います。こういう方の支援もお願いしたい。日本は自殺者が多いです。ぜひこれを改めるような施策をとっていただきたいです。
- 障がい者になってみて、不安や意見が述べられると思います。役所のイベント等の活字を少しでも大きくする（普通に見える人ばかりが目を通さない高齢者が増える）とみえる。読めることがスムーズにいかない）歩いてみたり、自転車を使ってみてはじめて車社会のために道が造られているのがよくわかります（スロープを多くする建物）高齢になって若い人の力が必要とすることが多く求められることがあるので手軽に利用できるシステムがあると良いと思います。
- 税金は本当に必要なところに使ってほしいです。それが脚光を浴びない、地味なところにとでもです。
- 元気ショップを春日井まつりなどでもやってほしいです。
- 障がい者用駐車スペースに健常者が平気で車を停めているのをよく目にします。それで障がい者用駐車スペースの意味がないので、改善策を提案するべきだと思います。
- 障がいがないでも生活しづらい経済状態になっています。税金を払うのも苦しい家庭も増えているのではないのでしょうか？健常者であっても常用雇用されないと、日々の生活も不安でたまりません。そのような人が増えていると考えられる中、障がいの方への経済的支援もできにくくなってくのではないですか？まず経済を立て直していただきたいものです。自分のことで精一杯、障がいの方まで目が向かない、という社会になってほしくはありませんが、そうなりつつあるのではという危惧が頭から離れません。自分自身も含めて。。

- 高齢社会、少子化社会に重点をおいてサービスをしてほしいです。例えば文化ホーム、市役所等の設備にお金をかけるより、もっと身近なことに税金を使ってほしいです。
- 今後、福祉への市の負担はますます大きくなります。そのためにも百年後を見据えた対策、税負担等を考えていただきたいです。
- 福祉より徴兵制を国民を律し軍備拡大を期待します。春日井市も大いに軍備に寄与して下さい。
- 介護されている方の本当の苦勞を知っていただきたい。言葉でわかっているということは簡単なことですが、実際の苦を自分の立場に変えて、真剣に考えてもらいたいです。事務的でなく心ある接客をして心がけてもらえたらとても嬉しく思います。
- 福祉サービスの充実が良いことだと思います。しかし、福祉ばかりに力を入れると他にも他の問題を抱えてサービスを望んでいる人がいるはずで、一か所に力を入れすぎて、不公平（過剰サービス）とならないようにして福祉の充実を進めてもらいたいと思います。市の政策は市の財産で行なうものです。それは全ての人の税金等の支払いがあつてこそなのです。お金を稼ぐのは簡単なことではありません。きちんと考えて計画的に不公平なく使っていただきたいと思います。

(14) その他

- 活動自体が不透明、熱心に取り組んでいるという印象が薄いです。
- 介護予防デイサービスをお友達に勧められ利用させていただいてますが、大変嬉しいことです。体操、利用者さんとの会話、いいですね。ここへ来てなかったら、とくに家の中に閉じこもり人間になっていたと思います。
- 現在は健康であるから自分が障がい者にならないとわかりません。
- 高齢者の住宅、順番待ちが即対応できていません！（待っている間に死亡）
- 平成18年6月に骨折（足の甲）をして、車椅子を利用していました。介護保険課に連絡したら「2か月で治るので介護保険の対象にはならない」と言われました。お金だけ支払って、こういうこととはどういうことでしょうか？夫が1か月仕事を休んで通院など助けてもらいました。
- 年金生活になり、今は自分たちだけで質素に健康に気をつけて生活していますが、現在不満や意見はありませんが、今、障がいの方達の社会参加が一つでも多くなることを願います。

- 今回のアンケートは、よくテレビでも政治家が一票欲しさによく出る案件ですが、年齢（70歳以上くらい）から来る病気、障がいと若い人の病気、事故によるものとは分けるべきだと思います。事実、現在介護保険の適用を受けている75歳以上の人は、支給は受けても保険料は払っておらず不公平だと思います。年寄りに偏った政策では子どもができて国立大学の年間授業料53万円と高額で、賢い人は少子化で子どもの将来を考えない人ばかり子どもをつくり、先日の新聞にもあるよう、子どもの学力は低下する一方です。障がいへ福祉サービスは重要と思いますが「かわいそう」などと偏った福祉はやめたほうが良いと思います。上記同様のことで「生活保護」も問題になっています。申請条件が合えば夫婦で15万円弱ももらえるなら自分も病気になりたいと思うくらいです。本当の弱者は健康でも正社員になれない。今の若い18～30代の人が障がいもないのに保護されるべきと考えます。
- 「障害」→「障がい」の表記変更・・・変更理由がわかりません。本来の意味が損なわれないか、過剰反応（最近の傾向）で、表記だけで実態は本質的はわかりません。